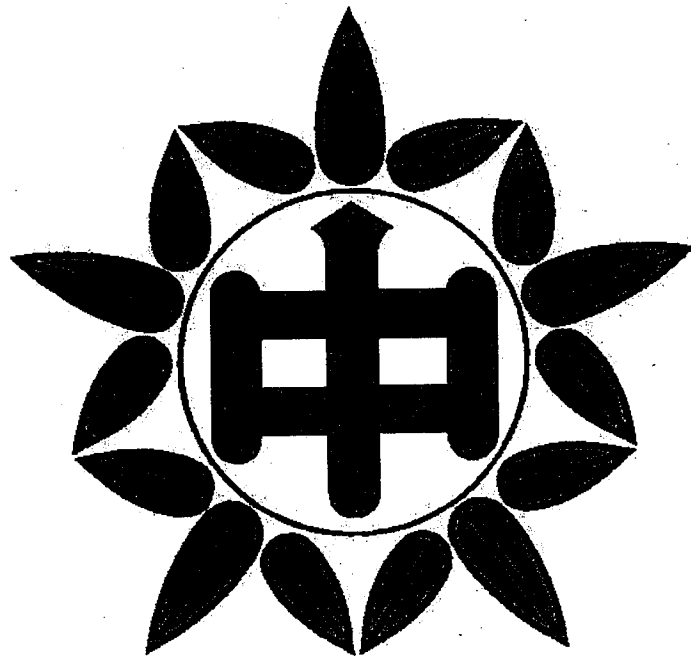


平成26年度

教育計画3

教育課題

全体計画・年間計画



駒の学び舎

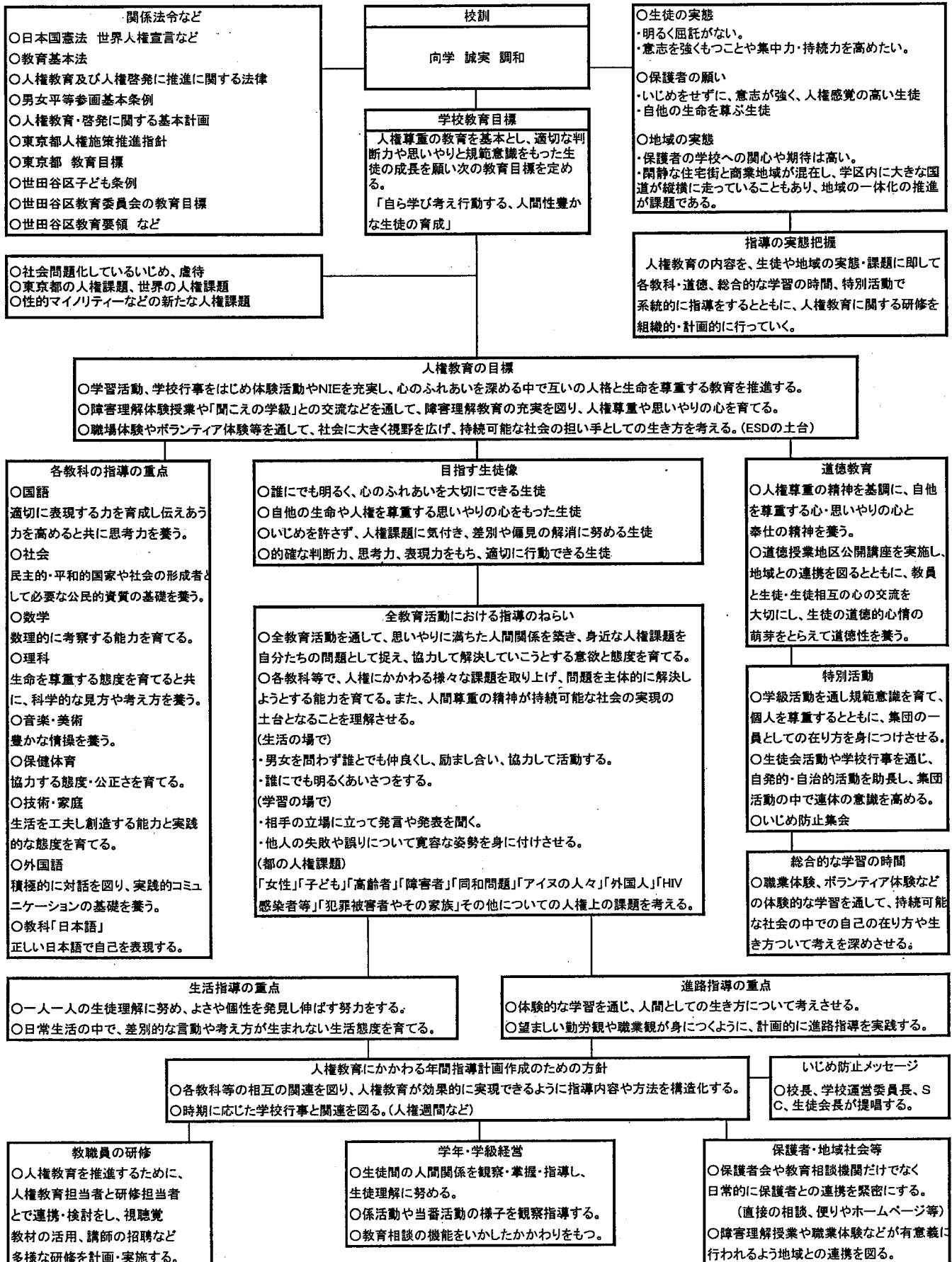
世田谷区立駒沢中学校

目 次

1	人権教育	全体計画・年間計画	P 1～4
2	特別支援教育	全体計画・年間計画	P 5～7
3	国際理解教育	全体計画・年間計画	P 8～11
4	食育	全体計画・年間計画	P 12～15
5	情報教育	全体計画・年間計画	P 16～17
6	進路指導(キャリア教育)	全体計画・年間計画	P 18～20
7	学校保健・性教育	全体計画・年間計画	P 21～24
8	ESD	全体計画・年間計画	P 25～26
9	環境・IT教育	全体計画・年間計画	P 27～28
10	防災教育	全体計画	P 29
11	安全指導	全体計画・年間計画	P 30～31
12	学校図書	全体計画・年間計画	P 32～33
13	NIE	全体計画・年間計画	P 34～35
14	オリンピック教育	全体計画・年間計画	P 36～37
15	シチズンシップ教育	全体計画・年間計画	P 38～39
16	いじめ防止教育	全体計画・年間教育	P 40～41
17	生活指導	年間教育	P 42～43

ESD

平成26年度 人権教育全体計画



	学校行事	各教科	道徳	学級活動	総合的な学習の時間	その他 人格の完成をめざして等
4月	始業式 入学式 生徒会リエンション 離任式 教育相談 健康診断4月～6月	英語 「新しいともだちをつくろう」 家庭「わたしたちの成長と家族・地域」	思いやりの心 生命尊重	先生と生徒の関係づくり 同一行動の習慣化		〔挨拶〕 友だちをたくさん作る
5月	生徒総会 運動会 中間考査	技術 「ネットによる人権侵害」 国語 「字のない葉書」	家族愛 基本的生活習慣 個性の伸長	生徒会活動の意義と参加 所属感を高める 運動会への取り組み		〔思いやり〕 人の気持ちを考える
6月	修学旅行(3) ふれあい月間 日本語公開授業	英語 「簡単な自己紹介、あいさつ」	感謝 誠実・責任 強い意志	暴力やいじめを考える		〔責任〕 自分の役割を自覚する
7月	期末考査 歌舞伎鑑賞教室(3) 終業式 教育相談	教科「日本語」 「ショートパンツ初体験インアメリカ」	弱さの克服 集団生活の向上	1学期を振り返る。		〔良心〕 善悪の判断をする
8月	教育相談					生命の輝き 命の尊さについて考える
9月	始業式 小学生体験入学 生徒会選挙 中間考査	保健体育 「性機能の成熟」	公德心 社会連帯 礼儀 正義	移動教室への取り組み 生徒会活動の意義と参加		〔勇気〕 自己規制する努力をする
10月	移動教室(1) 合唱コンクール 道徳地区公開講座 セーフティ教室	国語 「まなちゃんの道」	自然愛護 友情 思いやり 遵法精神	移動教室の取り組み 合唱コンへの取り組み		〔公共心〕 協力・協調の大切さを知る
11月	校内作品展 教育相談(3) 期末考査 ふれあい月間 校外学習(2)	国語「少年の日の思い出」 英語「人を紹介しよう」	愛国心 寛容の心 生きる喜び	暴力やいじめを考える	いじめ防止集会(生徒総会) 地域清掃への取り組み	〔フェア〕 けじめある生活を送る
12月	教育相談 新入生保護者会 終業式	教科「日本語」 「地域活動に参加して」	自主自律 勤労・奉仕 家族愛	学校生活の不安や悩み	自分を知る(キャリア教育)	〔寛容〕 差別しないで受け入れる
1月	始業式 美しい日本語週間 職場体験(2)	教科「日本語」 「人間ってすごい」	真理愛 生命尊重 国際理解	校外学習への取り組み	自分を知る(キャリア教育)	〔感謝〕 感謝の気持ちを伝える
2月	校外学習(1) 高校入試 学年末考査 ふれあい月間	教科「日本語」 「人生に答えを出した男の物語」	家族愛 公正・公平 思いやり	校外学習への取り組み 暴力やいじめを考える	自分を知る(キャリア教育)	〔やりぬく心〕 目標を最後までやり抜く
3月	校外学習(3) 地域合同防災訓練 卒業式・修了式	国語 「自由訳イメージ」	愛校心 強い意志	自分自身の成長を確かめる	自分を知る(キャリア教育) 地域の中で生きる(地域合同防災訓練)	〔誠実〕 まじめに真心を込めて生活する

	学校行事	各教科	道徳	学級活動	総合的な学習の時間	その他 人格の完成をめざして等
4月	始業式 入学式 生徒会リエンション 離任式 教育相談 健康診断4月～6月	教科「日本語」 「対話の基礎」	友情 個性の伸長	先生と生徒の関係づくり 同一行動の習慣化	集団の中で生きる(団結して物事を決める)	〔挨拶〕 友だちをたくさん作る
5月	生徒総会 運動会 中間考査	家庭 「住生活と自立」	基本的生活習慣 自然愛護 遵法精神	生徒会活動の意義と参加 所属感を高める 運動会への取り組み	集団の中で生きる	〔思いやり〕 人の気持ちを考える
6月	運動会 日本語公開授業 ふれあい月間	英語 「Charity Walk」	強い意志 公徳心 寛容の心	運動会への取り組み 暴力やいじめを考える	集団の中で生きる	〔責任〕 自分の役割を自覚する
7月	期末考査 歌舞伎鑑賞教室(3) 終業式 教育相談	国語 「サーカスの馬」	弱さの克服 誠実・責任	部活動の中心的な立場になる意義と心構え	将来に生きる(上級学校調べ)	〔良心〕 善悪の判断をする
8月	教育相談				将来に生きる(上級学校調べ)	〔生命の輝き〕 生命の尊さについて考える
9月	始業式 小学生体験入学 生徒会選挙 中間考査	家庭 「わたしたちの成長と家庭・地域」	真理愛 社会連帯 感謝 正義	生徒会活動の意義と参加	色々な人と生きる(障害理解教育)	〔勇気〕 自己規制する努力をする
10月	移動教室(1) 日本語公開授業 合唱コンクール 道徳地区公開講座 セーフティ教室	国語 「走れメロス」	生きる喜び 勤労・奉仕 畏敬	連帯感を高める 合唱コンへの取り組み	集団の中で生きる(団結して物事を決める)	〔公共心〕 協力・協調の大切さを知る
11月	校内作品展 教育相談(3) 期末考査 ふれあい月間 校外学習(2)	美術 「ユニバーサルデザイン」	集団生活の向上 生命尊重 国際理解 自主自律	暴力やいじめを考える 校外学習への取り組み	いじめ防止集会(生徒総会) 地域清掃への取り組み	〔フェア〕 けじめある生活を送る
12月	教育相談 新入生保護者会 終業式	英語 「スピーチ」	勤労・奉仕 礼儀 思いやり	学校生活の不安や悩み	社会に生きる(職場体験の準備)	〔寛容〕 差別しないで受け入れる
1月	始業式 美しい日本語週間 職場体験(2)	国語 「花いちもんめ」	家族愛 愛国心 公正・公平	最上級学年を迎えるにあたっての決意	社会に生きる(職場体験への取り組み)	〔感謝〕 感謝の気持ちを伝える
2月	校外学習(1) 高校入試 学年末考査 ふれあい月間	国語 「言葉で伝える」	異性理解 愛校心 生きる喜び	暴力やいじめを考える	社会に生きる(職場体験のまとめ)	〔やりぬく心〕 目標を最後までやり抜く
3月	校外学習(3) 総合学習発表会 地域合同防災訓練 卒業式・修了式	英語 「意見を言う」	思いやり 郷土愛	自分自身の成長を確かめる	地域の中で生きる(地域合同防災訓練)	〔誠実〕 まじめに真心を込めて生活する

	学校行事	各教科	道徳	学級活動	総合的な学習の時間	その他 人格の完成をめざして等
4月	始業式 入学式 生徒会リエンション 離任式 教育相談 健康診断4月～6月	国語 「ケナリも花、 サクラも花」	真理愛 強い意志	先生と生徒の関 係づくり 同一行動の習慣 化 生徒会活動の意 義と参加	郷土と文化を知 る(修学旅行への 取り組み)	【挨拶】 友だちをた くさん作る
5月	生徒総会 運動会 中間考査	理科 「生命の連続性」	家族愛 友情 基本的生活習慣	修学旅行への取 り組み 運動会への取 り組み	郷土と文化を知 る(修学旅行への 取り組み)	【思いやり】 人の気持ち を考える
6月	修学旅行(3) 日本語公開授業 ふれあい月間	社会 「二つの世界大 戦と日本」	感謝 生命尊重 自然愛護 理想の実現	修学旅行への取 り組み 暴力やいじめを 考える	郷土と文化を知 る(修学旅行への 取り組み)	【責任】 自分の役割 を自覚する
7月	期末考査 歌舞伎鑑賞教室(3) 終業式 教育相談	国語 「黒い雨」	弱さの克服 友情	部活動引退後の 過ごし方	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【良心】 善悪の判断 をする
8月	教育相談				豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【生命の輝き】 生命の尊さ について考 える
9月	始業式 小学生体験入学 生徒会選挙 中間考査	社会 「人間の尊重と 日本国憲法の基 本原則」	礼儀 生きる喜び 人類愛	生徒会活動の意 義と参加	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【勇気】 自己規制す る努力をす る
10月	移動教室(1) 日本語公開授業 合唱コンクール 道徳地区公開講座 セーフティ教室	英語 「What Is the M ost Important T hing to You?」	郷土愛 勤労・奉仕 畏敬 誠実・責任	連帯感を高める 合唱コンへの取 り組み	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【公共心】 協力・協調 の大切さを 知る
11月	校内作品展 教育相談(3) 期末考査 ふれあい月間 校外学習(2)	国語 「パールハーバ ーの授業」	思いやり 家族愛 異性理解 遵法精神	暴力やいじめを 考える	いじめ防止集会 (生徒総会) 豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【フェア】 けじめある 生活を送る
12月	教育相談 新入生保護者会 終業式	英語 「Mother Teresa」	伝統文化の継承 社会連帯 公正・公平	学校生活の不安 や悩み	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【寛容】 差別しない で受け入れ る
1月	始業式 美しい日本語週間 職場体験(2)	国語 「故郷」 保健体育「性感 染症の予防」	他に学ぶ 思いやり 集団生活の向上	卒業時期の学級 づくり	豊かに将来を開 く(進路選択への 取り組み)	【感謝】 感謝の気持 ちを伝える
2月	校外学習(1) 高校入試 学年末考査 ふれあい月間	国語 「顔の見える国 際協力」	生きる喜び 理想の実現 愛校心	暴力やいじめを 考える	性に関する教育 地域の中で生き る(地域合同防災訓 練)	【やりぬく心】 目標を最後 までやり抜 く
3月	校外学習(3) 総合学習発表会 地域合同防災訓練 卒業式・修了式	教科「日本語」 「技」をつくる	遵法精神 個性の伸長	自分自身の成長 を確かめる	障害理解教育 国際理解教育 デートDV	【誠実】 まじめに真 心を込めて 生活する

平成26年度 特別支援教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

【法的根拠】

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・障害者自立支援法
- ・発達障害者支援法
- ・東京都特別支援教育推進計画
- ・世田谷区の特別支援教育

【校訓】

向学 誠実 調和

【学校の教育目標】

「自ら学び考え行動する、
人間性豊かな生徒の育成」

【生徒の実態】

- ・明るく屈託がない。
 - ・意志を強くもつことや集中力、持続力に課題が見られる。
- 【教師の願い】
- ・何事にも前向きで意志の強い生徒
 - ・自他の生命を尊ぶ生徒・素直さと協調性をもつ生徒
- 【地域の実情】・保護者の学校への関心や期待は高い。
・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていることもあり、地域の一体化の推進が課題である。

特別支援教育の目標

- ・個別指導計画、個別の支援計画を作成し、個に応じた学習指導や生活指導、進路指導を工夫して、その可能性を最大限に伸長する。
- ・通常の学級に在籍する発達障害（LD、ADHD、高機能自閉症等）も含めた障害のある生徒への適切な教育的支援を人権尊重の精神に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じて、保護者との連携を図りながら実施する。
- ・難聴学級の活動や発表会などへの通常の学級の生徒の参加を通し、人権意識を高めるとともに、互いの個性を理解し思いやりや共生の心を育てる。
- ・インクルーシブ教育システムに基づき、障害者理解を推進することにより、生徒同士ができるだけ同じ場で共に学ぶことを追求し、生きる力を身につけられるよう、共生社会の形成に向けて、相互に人格と個性を尊重し支え合う環境を整備する。

特別支援教育の重点

- ・教育相談の機能をいかしながら、全教職員及び全校生徒の共通理解に基づく特別支援教育を推進する。
- ・個々の実態に応じた指導により、基礎的・基本的な学習の能力を高めるとともに、自己実現の意識を高める
- ・障害理解教育を基盤とした交流活動を通して、ノーマライゼーションの考え方に基づいた好ましい人間関係を育てる。
- ・個々の生徒の学習や生活面での問題点を的確に把握し、適切な就学指導を推進する。
- ・関係機関と協力するとともに、保護者、地域の特別支援教育への理解と連携を深める。
- ・「合理的配慮」の観点を踏まえて、すべての教員が共生社会の形成に向けた特別支援教育に関する一定の知識・技能を有すべく研修を充実させていく。

重点目標		具現の場と方途	校内体制
通常の学級	○障害理解教育を推進する。 ○通常の学級に在籍する支援を必要とする生徒の障害に対する理解を深め、適切な対応を行う。	○道徳の時間や学級活動における障害理解教育を実施し、障害がある人の気持ち、接し方などを理解する。 ○生徒本人の学習の様子や行動の特徴の実態を把握し、支援の仕方を共通理解して実践する。必要に応じて個別指導を行うため、支援室やパーテーションデスクなど環境整備も行う。	校内委員会 構成メンバー ○特別支援教育コーディネーター（依田広太郎） ※校内委員会運営、計画作成、外部連携など ○生活指導部教員 ○スクールカウンセラー 相談支援及び校内研修 ・発達障害等の実態と対応法について理解を深める。 ・スクールカウンセラーとの情報交換を通し、支援を必要とする生徒の共通理解を図る。 ・関係諸機関との連携を図る。
	・自己実現と自立のために基礎学力の向上を図る。 ・視覚情報の獲得により、言語力の向上を図る。 ・自分の障害を正しく理解し、望ましい自己像を確立し、主体的に生きていく姿勢を育成する。	・個別指導及び通常の学級における情報保障による支援を行う。 ・指文字及び手話単語や文字による支援、ICTやデジ教科書による学習指導など視覚メディアを活用することで、言葉を確実に獲得する環境を整え言語力の向上を図るとともに、パソコン操作にも慣れさせる。 ・同じ障害がある仲間との活動を通して、自身の障害について理解を深める。	
	通級指導学級のねらい ・通常学級での生活を通して、自信を深め、自ら進んで他者とかわろうとする姿勢を育てる。 通常学級のねらい ・互いの違いを認め、他者への思いやりをもち、学び合え、支え合える人間関係づくりに努める。	・発表会等の活動を通し、通常学級の生徒と協力しながら目標を達成することを経験する。 ・要約筆記ボランティアの活動を通し、自分たちにできることがあることを学ぶ。	
交流及び共同学習			個に応じた指導及び支援 ・学習面、行動面において支援の必要な生徒の実態を把握する。 ・個別指導計画、個別の支援計画を作成し、実践する。その際、保護者と連携するとともに、個人情報の管理の十分注意する。 ・学校支援員を効果的に活用する。
			就学指導 ・支援が必要な生徒の、卒業後を見据えた望ましい就学先の検討を行う。
			交流及び共同学習 ・障害理解教育を企画し、実施することで交流の基盤をつくる。

家庭、特別支援学校、関係諸機関、地域社会等との連携

- ・駒の学び舎内小学校、区内小中特別支援学級、都立特別支援学校（副籍を含む）との連携を強め、情報交換を行う。
- ・特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる授業見学、意見交換等を通して、指導に反映させる。
- ・区教委、世田谷区教育相談室、区子ども家庭支援センター、都立教育相談センター、医療機関などと個々のケースの共通理解を図る。
- ・世田谷区社会福祉協議会との連携による、障害理解教育を実施する。SSN事業による支援を行う。
- ・保護者や生徒を対象とした要約筆記ボランティアを募集し、活動を通して障害の理解を深める。

平成26年度 特別支援教育 年間指導計画(校内通級) 駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	交流及び共同学習を通じた自己の障害の理解と種々の困難を改善する 個別指導計画、個別の教育支援計画に基づく適切な指導及び支援を行う 人権尊重をもとにした思いやりの心、生活上の基本的なルールやマナーを守る											
教科の補充指導	個別指導計画をもとに、授業改善や家庭との連携を通じて、主体的に学ぶ生徒を育成する 生徒の興味・意欲・理解を促進するため、ICT活用を含めた教材・教具の開発を進める 学力検査等とおして生徒の学習の定着度を把握し、指導方法の工夫・改善を行う											
自立活動	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する 聴覚障害者としての誇りをもち、社会の一員として参加し、貢献できる力を育成する											
支援体制	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する ケース会議等による情報の共有化や授業や集会などで、ICTを利用した											
交流	社会に適応し、自立していくために、社会生活に必要な一人一人に応じた実践的なコミュニケーションの能力を伸ばす 生徒の課題を明らかにし、保護者の希望を踏まえた個別指導計画を作成し、実態に応じたきめ細やかな指導を行う											
保護者	生徒の課題を明らかにし、保護者の希望を踏まえた個別指導計画を作成し、実態に応じたきめ細やかな指導を実施する 聴覚障害についての認識の深化、子どもの見方・育て方、将来の進路等を支援するために、保護者面談を実施する											
1年	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施 日本語「ショートパッツ初体験 イン アメリカ」											
2年	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施											
3年	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施											
備考	・自立活動：障害の状態の理解と聴覚管理、保有する感覚の活用と視覚情報の獲得、感覚の補助・代行手段の活用、発音・発語・言語に関すること など ・教科の補充指導：ICTやデイジー教科書等の活用を含む ・支援体制：情報保障を含む											

平成26年度 特別支援教育 年間指導計画(校外通級) 駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	交流及び共同学習を通じた自己の障害の理解と種々の困難を改善する 個別指導計画、個別の教育支援計画に基づく適切な指導及び支援を行う 人権尊重をもとにした思いやりや心、社会生活上の基本的なルールやマナーを守る心を											
教科の補充指導	個別指導計画をもとに、個に応じた指導を展開し、能力の伸長を図る 授業改善や家庭との連携を通じ、主体的に学ぶ生徒を育成する 生徒の興味・意欲・理解を促進するため、ICT活用を含めた教材・教具の開発を進める 学力検査等とおして生徒の学習の定着度を把握し、指導方法の工夫・改善を行う											
自立活動	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する 聴覚障害者としての誇りをもち、社会の一員として参加し、貢献できる力を育成する											
支援体制	一人一人の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段を適切に活用する											
交流	社会に適応し、自立していくために、社会生活に必要な一人一人に応じた実践的なコミュニケーションの能力を伸ばす 生徒の課題を明らかにし、保護者の希望を踏まえた個別指導計画を作成し、実態に応じたきめ細やかな指導を行う											
保護者	生徒の課題を明らかにし、保護者の希望を踏まえた個別指導計画を作成し、実態に応じたきめ細やかな指導を行う 聴覚障害についての認識の深化、子どもの見方・育て方、将来の進路等を支援するために、保護者面談を実施する											
1年												
2年	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施											
3年	聴覚障害の理解啓発を図る授業の実施											
備考	・自立活動：障害の状態の理解と聴覚管理、保有する感覚の活用と視覚情報の獲得、感覚の補助・代行手段の活用、発音・発語・言語に関すること など ・教科の補充指導：ICTやデイジー教科書等の活用を含む ・支援体制：情報保障を含む											

聞こえの学級

障害理解教育

【校訓・学校教育目標】

○学習指導要領
○世田谷区教育要領
○中央教育審議会答申
○世田谷区教育委員会の基本方針 など

○校訓 向学 誠実 調和

○学校教育目標

人権尊重の教育を基本とし、適切な判断力や思いやりと規範意識をもった生徒の成長を願い、次の目標を定める。
「自ら学び考えて行動する、人間性豊かな生徒の育成」

【生徒・地域の実態】

【生徒】

・異文化や言語に対する興味・関心が高い。
・生徒の大半は学校での外国語の授業が英語や外国人（ALT）に触れる時間になっている。

【地域】

・国際理解教育や英語教育の充実に望んでいる。

【国際理解教育の指導目標】

- 1 各教科等や教科「日本語」で日本の伝統や文化を深く理解し、尊重する態度を基盤とする。（ESDの土台①）
- 2 人権尊重の精神を基盤に、人間理解と文化理解を通して異なる価値観を認め、異文化・多文化の国際社会のなかで世界の平和を尊重し、持続可能な社会の実現に貢献しようとする心情・判断力及び態度を養う。（ESDの柱④）
- 3 自己を表現する力や相手の話を聞く力を養い、母語及び英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

【駒沢中学校の目指す生徒像】

- 日本や地域社会の伝統と文化を尊重し愛着と誇りをもつとともに、外国の文化などにも理解を深めることのできる、世界的な視野と幅広い国際感覚、世界平和を尊重する心と知恵をもつ生徒
○豊かな表現力やコミュニケーション能力をもち、誰とでも協働して国際社会で活躍することができる生徒

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間・その他
・自ら考える力を高め、自己を表現する能力を育てる。 ・自国や他国の文化や伝統を尊重する態度を育てる。 ・平和を希求し、戦争や紛争についての課題意識と正しい判断力を育てる。	・様々な価値観を認め、人権を認め合う態度を育てる。 ・郷土を愛し、自国の伝統と文化をほこりに思う気持ちをはぐくむ。 ・世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする意欲を高める。	・お互いを尊敬し、協力し合う心を育てる。 ・集団生活の中で、協力してよりよい生活を築こうとする態度を養う。 ・自治的活動に取り組める生徒を育てる。	・ALTとのティームティーチングを通して、コミュニケーション能力を育成する。 ・留学生からその国の文化や生活習慣を学んだり、将来の夢を聞くことで、国際社会に貢献しようとする気持ちを育てる。

英語教育

1 コミュニケーションに関すること

- (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること
- (2) 積極的に外国語を聞いたり話したりすること
- (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること

2 言語や文化に関すること

- (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語とのちがいを知り、ことばの面白さや豊かさに気付くこと
- (2) 日本と外国との生活、習慣、行事等のちがいを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと
- (3) 異なる文化をもつ人々との交流等の体験を通して、それらの文化等に対する理解を深めること

3 外国語の理解と表現

- (1) 聞く・話す・読む・書くについての知識と技能をバランスよく身に付けること
- (2) 基礎的・基本的な語・連語・慣用表現及び文構造（文法事項）について習得すること
- (3) まとまりのある文章を話す力・書く力（アウトプット）を高めること

- ・基礎的・基本的な語彙・文構造を習得する授業の目標の明確化とICTを活用した英語の授業
- ・NIEを取り入れた授業
- ・世田谷区教育要領に沿った繰り返し学習、発展的な学習を取り入れた授業
- ・スピーチ・チャンツ・多様なアクティビティを取り入れたコミュニケーション中心の英語の授業
- ・ALTや留学生、大使館（検討）との交流、モンゴル留学生との交流
- ・校内スピーキングコンテスト（学年）、区英語スピーチコンテストの実施
- ・英検教室の計画的な実施、英語部の活動
- ・学校紹介（英語版）の作成、校内の英語表示など

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科	教科「日本語」		季節を表す言葉	ジョー・バントンの体験(アメリカ)	論理的な表現とは		地域活動に参加して	職業と好きなこと	人生に答えを出した男の物語		二十一世紀に生きる君たちへ	
	社会	【地理】世界の様々な地域 【歴史】日本の始まり		【地理】アジア、ヨーロッパ、アフリカ 【歴史】律令国家の成立		【地理】北アメリカ、南アメリカ、オセアニア 【歴史】貴族の政治と武士の登場		【地理】世界の様々な地域の調査、日本の様々な地域 【歴史】中世の日本と世界				
教科等	外国語		・英語の揭示・標識			世界の食べ物を知る	ロンドン旅行	アジアの食べ物を知る	折り紙	ワシントンDC旅行		
	道徳		望ましい習慣	男女の理解・尊重	人間の強さと気高さ	礼の精神	人間愛、思いやりの心	愛国心、伝統の継承と文化の創造	勤労、社会奉仕	日本人としての自覚、人類愛	愛校心	
特別活動	総合的な学習の時間	・オリエンテーション				・セーフティ教室				・日本の伝統文化を学ぶ		・まとめ
	学級活動	ネットリテラシー		性情報への対処	自己の適性を学ぶ	所属意識の充実	地域ボランティア活動の意義		校外学習への取り組み			
学校行事		入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、学校公開週間、生徒総会					生徒会役員選挙、合唱コンクール、三者面談、学校保健委員会					日本語・学校公開週間、百人一首大会

平成26年度 国際理解教育に関する指導の年間指導計画（第2学年） 駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科「日本語」	対話の基礎	率直な自己表現		私のニュース解説		コマージュナルの秘密		レポートを書こう			情報社会における表現	
	社会	〔歴史〕 近世の日本と世界			〔地理〕 世界の諸地域		〔歴史〕 近代化の進む世界と日本			〔地理〕 日本の諸地域		
外国語	京都旅行・韓国旅行	フィンランドについて	世界のチャリティイベント			観光名所や祭り	地球環境サミットのスピーチ		メキシコのプロレス文化	オーストラリアと日本のホームステイ	自分の考えをまとめる	白川郷・賛成、反対意見を述べる
道徳	友情、信頼	望ましい習慣・節制・節約	公徳心、社会連帯	人間の強さと気高さ、生き生きする喜び			勤労、社会奉仕	日本人としての自覚、人類愛	礼儀	愛国心、伝統の継承と文化の創造	愛校心	郷土愛、先人への尊敬・感謝、郷土の発展
総合的な学習の時間	・オリエンテーション	・職業適性について考える					・セーフティ教室 ・上級学校について調べる		・職場体験学習に向けた準備	・職場体験学習		・まとめ
学級活動		所属意識の充実	性情報への対処	地域ボランティア活動の意義			校外学習への取り組み			職場体験への取り組み		
学校行事	入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、学校公開週間、生徒総会	生徒会役員選挙、合唱コンクール、三者面談、学校保健委員会			職場体験、卒業式							

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科等	教科「日本語」	古都の文化・歴史的遺産	人間国宝	歌舞伎	「食」について		「衣」について		「住」について		茶道体験	
	社会	〔歴史〕近代化の進む日本と世界	〔歴史〕二つの世界大戦と日本	〔歴史〕現代の日本と世界	〔公民〕人権の尊重と日本国憲法	〔公民〕平和主義	〔公民〕くらしと経済		〔公民〕国際社会を生きる			
	外国語	学校のチャイムの歴史	時差について・日本の世界遺産	日本の食文化について	海外の日本食レストラン	日本の伝統的なおもちゃ	茶道・ハロウィン・伝統の祭り	アフリカの飢饉問題・ツバルの地球温暖化問題	学校紹介	・エジプトの世界遺産	・日本の海外進出	
	道徳	家族愛、充実した家庭生活	友情、信頼	生命尊重	人間の強さと気高さ、生きる喜び	勤労、社会奉仕	男女の理解・尊重	日本人としての自覚、人類愛	人間愛、思いやりの心		郷土愛、先人への尊敬・感謝、郷土の発展	
	総合的な学習の時間	・日本の伝統文化を学ぶ (修学旅行の事前事後)									・異文化理解体験学習	・まとめ
特別活動	学級活動	修学旅行への取り組み	性情報への対処			所属意識の充実		地域ボランティア活動の意義		よりよい集団生活の構築	留学生に学ぶ	卒業に向けて
	学校行事	入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、学校公開週間、修学旅行、生徒総会		生徒会役員選挙、合唱コンクール、三者面談、学校保健委員会		校外学習、卒業式						

平成26年度 食育全体計画

駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校

- 学習指導要領
- 食育基本法
- 食育推進基本計画
- 世田谷区教育委員会の基本方針

【校訓・学校教育目標】

向学 誠実 調和

人権尊重の教育を基本とし、適切な判断力や思いやりと規範意識をもった生徒の成長を願い、次の目標を定める。
「自ら学び考えて行動する人間性豊かな生徒の育成」

生徒

- ・明朗、活動的で素直。
- ・給食を楽しみにしており、進んで給食当番活動に取り組んでいる。
- ・学年が上がるにつれて、好き嫌いせず、バランスのよい食生活を送っている。

【食育の目標】

正しい食と生活習慣を自ら考え実践する生徒の育成に努め、健康的な心身と豊かな人間性を育む教育を推進する。

【食に関する指導目標】

- 1 正しい食と健康的な心身について見つめ直し、自らの生活を考えさせる。
- 2 健康的な心身と食の関係を、家庭科や保健体育科の授業、NIEと関連づけて学習する。
- 3 規則正しい生活習慣と食生活の関係を周知させ、全校で朝食をとる習慣づくりに取り組む

【駒沢中学校の目指す生徒像】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」などの望ましい生活習慣を身につけ、自ら健康を保持・管理できる生徒
- 食文化や食品の生産・栄養について理解を深め、日常の生活を豊かにできる生徒

教科等との関連		1年	2年	3年
	社会	地域の自然を活かした生活	世界と日本の生活と文化	食糧問題と日本の農業
	理科	植物の生活と体の仕組み	動物のからだ働き	自然と人間
	保健体育	心身の発達と心の健康	健康と環境	健康な生活と病気の予防
	家庭	食事と役割	日常食を見直そう	行事食
	道徳	よりよい生活習慣	よりよい生活習慣	よりよい生活習慣
給食指導	教科 日本語			食 食べる
	4月	能力的な給食の準備 後片付け	8月 水分の取り方	12月 給食時間の使い方
	5月	白衣の帽子的着用	9月 食事の礼儀作法	1月 食器・食べ物を大切に する
	6月	食事のマナー	10月 配膳の効率化	2月 食生活と栄養の バランス
	7月	衛生への配慮	11月 感謝の気持ち	3月 1年間の食生活を 振り返る
個別指導	食物アレルギーへの対応・配慮、健康診断			
家庭・地域との連携	学校保健委員会、保健だより、PTA活動との連携、啓発、災害時の食			

食育リーダー

小嶋 紗代子

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教科等	技術・家庭							・食生活と栄養	・献立のたて方 ・バランスの取れた食生活 ・作物の栽培			・調理と食文化	
	保健体育 (保健分野)												
	理科		・植物のつくりと働き ・植物の種類やその生活										
	社会	(地理) 世界の様々な地域 【歴史】日本の始まり	(地理) アジア、ヨーロッパ、アフリカ 【歴史】律令国家の成立	(地理) 北アメリカ、南アメリカ、オセアニア 【歴史】貴族の政治と武士の登場					【地理】世界の様々な地域の調査、日本の様々な地域 【歴史】中世の日本と世界				
他教科	他教科					【英】世界の食べ物を 知る	【英】イギリスの食べ物 を知る	【英】アジアの食べ物 を知る		【英】アメリカ旅行			
	道徳	1 (1) 節度・調和のある生活	3 (2) 自然愛護・畏敬の念		3 (1) 生命の尊重		4 (6) 家族愛 4 (6) 勤労の尊さ	4 (8) 郷土愛	1 (1) 節度・調和のある生活	2 (1) 礼儀 4 (9) 日本人としての自覚		4 (10) 世界の中の日本人	
	総合的な学習の時間	・オリエンテーション				・セーフティ教室				・日本の伝統文化を学ぶ		・まとめ	
	給食時間	・朝食の大切さを見直そう →日中の生活への影響について	・夏の健康に過ごすための食事について考えよう	・夏を健康に過ごすための食事について考えよう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	・朝食の大切さを見直し、規則正しい食事をとろう	
特別活動	給食指導	・準備・後付けの仕方	・当番の身支度・手洗いの徹底	・正しい配膳・正しい姿勢	・食品や食器の取り扱い方	・エプロンの着用の大切さ	・食事の挨拶	・食事の挨拶	・食事の挨拶	・食事の挨拶	・食事の挨拶	・食事の挨拶	
	学級活動	★給食時間の過ごし方 ・ルールを守り協力する。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする。 ・正しい姿勢で食べる。	
	学校行事	入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、学校公開週間、生徒総会	生徒役員選挙、合唱コンクール、三者面談、学校保健委員会										
	給食センターとの連携 (献立等)	・お花見献立 ・山菜料理	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句
世田谷でつくられた食材を使った献立や季節にちなんだ献立													
家庭・地域との連携	給食センターとの連携 (献立等)	・お花見献立 ・山菜料理	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	・端午の節句	
	学校だより、学年だより、保健だより、給食だより (センター発行)	学校だより、学年だより、保健だより、給食だより (センター発行)											
	家庭・地域との連携	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	・地域の夏祭り (バトロール)	
	地域合同防災訓練	地域合同防災訓練											

平成26年度 食に関する指導の年間指導計画 (第2学年) 駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科等	技術・家庭			・調理と食文化 ・日常食の調理		・家庭や家族の機能や地域との関わり		・幼児の生活と家族		・私たちの消費と環境 ・私たちのより良い生活		
	保健体育 (保健分野)		・健康と環境									
	理科		・動物の生活と生物の進化・生命を維持するはたらき			・動物のなかま						
	社会											
	他教科											
特別活動	道徳											
	総合的な学習の時間											
	給食時間											
	給食指導											
	学級活動											
給食センターとの連携(献立等)	学校行事											
	入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、学校公開週間、生徒総会											
	世田谷でつくられた食材を使った献立や季節にちなんだ献立											
	・お花見献立 ・山菜料理											
	・七夕献立・注 の日・ボーカ レー・明スー ・お花見・トマト スープ・肉じゃが ・お月見・豆 ・お月見・豆 ・お月見・豆											
家庭・地域との連携	学校だより、学年だより、保健だより、給食だより(センター発行)、PTA挨拶運動											
	・地域の夏祭り(パト											
	・給食試食会											
	・学校保健委員会											
	・学校保健委員会											

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科	技術・家庭								・地域の食文化 ・より良い食生活を目指して		・郷土料理 ・調理計画と実習	
	保健体育 (保健分野)		・健康な生活と疾病の予防									
	理科	・生命の成長とふえ方			・自然界の 釣り合い						・自然と環境保全 ・自然と人間生活	
	社会	[歴史] 近代化の進む日本と世界			[歴史] 現代の日本と世界 [公民] 人権の尊重と日本国憲法							
	他教科	[日本語] 食のしきたり 日本料理と発酵文化	[英] 日本の食文化について	[英] 海外の日本食レストラン				[英] 茶道・ハロウィン				
特別活動	道徳	1 (1) 節度・調和のある生活	4 (5) 勤労の尊厳 3 (1) 生命の尊厳	4 (6) 家族愛 4 (8) 郷土愛 4 (9) 日本人の心	3 (1) 生命の尊厳 4 (8) 郷土愛 2 (1) 礼儀	4 (10) 世界の中の日本人 4 (6) 家族愛 4 (9) 日本人の心	3 (1) 生命の尊厳 3 (1) 自然環境・畏敬の念			2 (2) 人間愛 4 (6) 家族愛 2 (2) 人間愛 4 (6) 勤労の尊厳		
	総合的な学習の時間	・日本の伝統文化を学ぶ (修学旅行の事前事後)			・日本の食を見直そう	・セーフティ教室					・異文化理解体験学習 ・まとめ	
	給食時間	◎行事食の由来について	◎季節ごとの旬の食材について学ぼう			◎健康な食事を考えるなら日本型の食事を見直そう	◎冬を健康に過ごす(抵抗力を高める)ための食事、食習慣の正しい学習			◎日本の各地域の産物や食文化・食の歴史について学ぼう		
	給食指導	・準備・後の後かたづけの仕方	・当番の身支度・手洗いの施行	・正しい配膳の正しい姿勢 ・正しい姿勢で食べる	・当番以外の生徒の協力体制	・食品や食器の取り扱い方	・エプロンの着用の大切さ	・食事の挨拶 ・食事の挨拶	・食事中の会話と雰囲気づくり	・はし・食器の持ち方 ・偏食をしない ・よく噛んで食べる	・咀嚼と消化について考え ・よく噛んで食べる	
	学級活動	★給食時間の過ごし方 ・ルールを守り協力する。	★会食の仕方 ・正しい配膳をする ・正しい姿勢で食べる			★食生活の重要性 ・規則正しい食事 ・食生活の乱れの体への影響		★健康な歯や骨を作ろう ・カルシウムを多く含んだ食品について		★感謝して食べよう ・給食に携わる人たちに感謝しよう。 ・給食の歴史と大切さについて		
給食センターとの連携(献立等)	学校行事	入学式、身体測定、各種健康診断、運動会、学校公開週間、修学旅行、生徒総会	生徒会役員選挙、合唱コンクール、三面談、学校保健委員会							校外学習、卒業式		
	給食センターとの連携(献立等)	・お花見献立 ・山菜料理	・味噌汁・トマトスープ・肉じゃが・星のコーンソース	・七草献立・玉子・ポークカレシ・卵スープ	・お月見献立・夏野菜のトマト煮・豚肉と野菜の味噌炒め	・おでん・けんちんうどん・さつまいも汁	・クリスマス、冬至の献立・すいとん・ほうとうどん	・正月料理・七草粥・ごぼうサラダ・みぞれ煮		・挑の節句献立		
	家庭・地域との連携	学校だより、学年だより、保健だより、給食だより(センター発行)、PTA挨拶運動	・給食試食会	・地域の夏祭り(バト)				・学校保健委員会		・地域合同防災訓練		

平成26年度 情報教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
世田谷区教育要領 など

【校訓】
向学 誠実 調和

【教育目標】
「自ら学び考え行動する、
人間性豊かな生徒の育成」

【生徒の実態】
・明るく屈託がない
・意志を強くもつことや集中力、持続力に課題が見られる。
【教師の願い】
・何事にも前向きで意志の強い生徒
・自他の生命を尊ぶ生徒
・素直さと協調性をもつ生徒
【地域の実情】
・保護者の学校への関心や期待は高い。
・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていることもあり、地域の一体化の推進が課題である。

情報教育の目標

- 1 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、主体的に問題を解決できる生徒を育成する
- 2 情報手段の特性を理解し、情報を発信・伝達する能力を身につけさせる
- 3 情報モラルの必要性を理解し、進んで望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育成する

各学年の指導目標

第1学年

- ・情報機器の基本操作を身につけさせる
- ・情報手段の特性を理解させる
- ・情報技術の社会への様々な影響を知らせる

第2学年

- ・情報を主体的に収集することができる能力を身につけさせる
- ・必要に応じて、情報を処理・表現・創造することができる能力を身につけさせる。
- ・情報モラルの必要性を理解させる

第3学年

- ・必要に応じて、情報を発信・伝達できる能力を身につけさせる。
- ・自ら情報活用を評価改善できる能力を身につけさせる
- ・望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を培う

ICTを活用した授業改善(目標の明確化、ICTを活用した指導方法・形成的評価の工夫)

・デジタル教科書、開発コンテンツ、大型テレビ、電子黒板、実物投影機、PJなどを活用し、学習意欲と学力を高める。

各教科

国語・書写

- ・ワープロソフトによる文の編集をする
- ・ICT機器を活用し自分の考えを伝達する

社会

- ・資料やインターネットより収集した情報を適切に加工・処理し、表現する
- ・情報社会の意味を理解する

数学

- ・図形処理ソフトを利用した問題解決を行う

理科

- ・観察や実験を通じて、データの収集・処理を行い、グラフ化して分析し、表現する

外国語

- ・異文化の情報を収集する
- ・インターネットによる海外とのコミュニケーションを行う

音楽

- ・ソフトによる作曲・パート別演奏をする
- ・鑑賞や表現の補助手段として活用する

美術

- ・ペイントソフトによるデザイン学習をする
- ・スキャナー使用で線画を取り込む

技術・家庭

- ・情報機器の基本操作、特徴を学ぶ
- ・ソフトウェアの機能と活用、表現方法、情報モラルや著作権、セキュリティを

保健体育

- ・スポーツテストの結果をデータ化し個人の運動能力の成長を把握する
- ・技能習得、体力向上、健康管理を行う

教科「日本語」

- ・調べ学習や発表活動を通じて情報機器を

道徳 特別活動

・情報モラルを大切にする心を育て

- ・インターネットを活用して、情報の収集を行う
- ・情報機器やコンピュータソフトを活用して、多くの情報を適切に処理したりプレゼンテーションを行う

総合的な学習の時間

- ・多くの情報の中から必要な情報を収集したり整理して、適切な情報発信ができるようにする
- ・目的に応じて情報機器を操作したり、コンピュータソフトを活用して適切に表現できるようにする
- ・情報化社会における情報モラルの理解を深め、社会のルールやマナーを守る態度を育成する

生活指導・進路指導、NIE、教育環境

- ・セーフティ教室などで情報モラルを取り扱う
- ・インターネット活用のガイドラインを作成する
- ・インターネットを活用し、高等学校その他の上級学校を調べる

特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連

- ・自主的なコンピュータ活用を支援する
- ・授業での情報活用方法についての情報交換を教員同士で行う

学び舎・家庭・地域などとの連携

- ・学び舎内の学校同士による情報交換
- ・ホームページを通じて、地域への情報発信を行う
- ・地域人材活用や地域教材の発掘、人的な協力態勢づくりを行う

教育の情報化推進リーダー(田村真治) ICTマイスター(田村真治) ICT活用リーダー(西川慶介)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1年	技：乘法と私たちの生活 技：コンピュータと情報処理	技：情報ネットワーク 技：ネットワーキングと情報セキュリティ	技：情報モラルと知的財産	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	技：デジタル作品の設計と製作	
2年	家：住居と自立 家：住居と自立 日：私のニース解説メディアリテラシー1	家：住居と自立 家：住居と自立 日：私のニース解説メディアリテラシー1	家：住居と自立 家：住居と自立 日：私のニース解説メディアリテラシー1	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	社：世界から見た日本のすがた 日：コマースジャーナルの秘密メデアリテラシー2	
3年	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	社：私たちの現代社会 社：私たちの現代社会	
1年		自分を支えたい	自主的な判断	弱さの克服		好きな世の中 いいじめを許さぬ 強さ	自然を愛する心 きまりの意識	郷土を愛する心 国際協力を考える	勤労の尊さ 社会への奉仕	真の国際貢献 国を愛する心	公正、公平な社会 愛校心	くじけない心 郷土の一員としての自覚	
2年		自然への畏敬	ともに生きる社会	責任ある判断		夢を待ち続ける 生き方	郷土を愛する心 深い人権愛 いいじめを許さぬ 心	郷土を愛する心 方々の理解と遵守	伝統の継承	役割の自覚	志高く生きる	自分を磨く	
3年	真理を愛する生き方	信頼に支えられた友情	生命の尊さ	自然への畏敬		深い人権愛 いいじめを許さぬ 心	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
1年	インターネットの長所と短所			携帯電話とスマートフォン タブレット		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
2年	SNSの利用と注意	職業について考える		上級学校調べ学習		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
3年	修学旅行調べ学習	進路についての取り組み	進路についての取り組み	進路についての取り組み		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
1年	中学校で生きる	自分を生きる	自分を生きる	自分を生きる		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
2年	社会に生きる（1）	将来に生きる 校外学習研究	将来に生きる 校外学習研究	将来に生きる 校外学習研究		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
3年	郷土と文化を知る（修学旅行の取り組み）	豊かに将来を開く（1）	豊かに将来を開く（1）	豊かに将来を開く（1）		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	
情報モラル	ネットリテラシー シニア講座			技：情報モラルと知的財産		移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	移動教室（河口湖・富士山方面） 調べ学習・まとめ	

ESD②

日本国憲法
教育基本法
学校教育
学習指導要領
世田谷区教育要領

校訓
向学 誠実 調和

学校教育目標
自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成

ESD

人、社会、自然と
のかかわり、つながり

駒沢中学校のキャリア教育の指導目標
一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すとともに、生涯にわたる社会人、職業人、「持続可能な社会」の構成員としてのキャリア形成の基礎を培う。

生徒の実態

○明るく屈託がない
○意志を強くもつことや、集聚力・持続力を高めたい。

保護者の願い

○いじめをせずに、意志が強く、人権感覚の高い生徒
○自他の生命を尊重する生徒

地域の実態

○学校への関心や期待は高い
○閑静な住宅地と商業地域が混在し、学区内に首都高速道路や国道が縦横に、走っていることもあり、地域の一体化を推進したい。

本年度の重点目標

- キャリア学習ノートやNIE等を活用してよりよい生き方や進路について考え、自己理解を促すとともに、成功体験や失敗からの回復体験を多く経験させる学習の場面をつくり、課題対応能力やキャリアプランニング能力及び学ぶ意欲を向上させる。
- 学校での学習内容が社会生活に生かされていくことを実感できる体験活動、職業を中心とした社会生活について学ぶ活動、働く人の気持ちを感じ取る体験活動を充実し、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方を考え、目標を立てて計画的・意欲的に取り組む態度の育成と進路の選択・決定、自己実現と社会的自立を促す。
- ガイダンス機能を生かして自己と社会への関心をもたせ、地域から日本・世界へと視野を広げ、社会貢献、環境保全など、職場・職業等を通じて様々な人々と課題の解決のために協働する持続可能な社会の構成員となる資質・能力を高める。(ESDの柱②)

育成したいキャリア発達にかかわる能力や態度（基礎的・汎用的能力）

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
- 他者の個性を理解する力 - 他者に働きかける力 - コミュニケーションスキル - ソーシャルスキル - チームワーク - リーダーシップ	- 自己の役割の理解 - 前向きに考える力 - 自己の動機付け - 忍耐力 - ストレスマネジメント - 主体的行動	- 情報の理解、選択、処理など - 本質の理解 - 原因の追究 - 課題発見 - 計画立案 - 実行力 - 評価、改善	- 学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 - 多様性の理解 - 将来設計 - 選択 - 行動、改善 - 進路意識調査、進路希望調査

道徳

- 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。
- それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。
- 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。
- 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。
- 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会充実の発展に努める。

進路指導

◎別葉参照 キャリア学習だより（発信）

総合的な学習の時間

- 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- 職業や事故の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにする。
- 社会体験、職場体験、ボランティア体験を推進する。

特別活動

○学級活動

- 望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする主体的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
- 学級や学校生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行う。

○生徒会活動

- 委員会活動を通して、生徒の個性の伸長を図るとともに社会性を育てる。

○学校行事

- 集団への所属感を深めるとともに、学校生活の充実と発展に資する態度を育てる。

各学年の重点目標

第1学年	第2学年	第3学年
- 自分のよさや個性が分かる。 - 自己と他者の違いに気付き、尊重しようとする。 - 夢を基盤とする指導を引き継ぎ、将来の職業に対する夢やあこがれを抱く。 - 上級学校（高等学校等）を調べる。 - 職場訪問等で職業を考える。	- 自分の言動が、他者に及ぼす影響について理解する。 - 社会の一員としての自覚が芽生えるとともに、社会や大人を客観的にとらえる。 - 将来への夢を達成する上での問題について考える。 - 上級学校（高等学校・大学等）を知る。 - 職業、職場を体験する。	- 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。 - 社会人としての義務と責任を考える。 - 大学体験入学をして、卒業後の人生設計について考える。 - 企業の社会貢献、環境保全を知る。 - 労働関係法規を知る。

進路指導の現状	校訓・教育目標	本校の課題
総合的な学習の時間を活用し、中学校3年間を見通した進路指導に取り組んでいる。 3年生になって目先の進路指導に追われてしまいう傾向がある。	人権尊重教育を基本とし、適切な判断力や思いやりと規範意識をもった生徒の成長を願い、以下の教育目標を定める。 「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」	1学年から計画的に進路学習を行い、社会性や職業観をばぐくみ、自分の将来を見つめる。 職場体験や体験入学、情報の収集・整理を行い、目的意識をもった進路選択・決定の援助を行う。



進路指導目標
1 生徒一人ひとりの発達段階に応じた計画的・継続的な進路指導を行う。 2 生徒一人ひとりが主体的に自己の特性への理解を深め、将来の進路決定ができるようにする。そのために、職業体験や学校訪問、ボランティア体験等地域を中心とした学校外における学習を推進する。 3 生徒一人ひとりが将来の学校や職業などに関する情報を収集し、活用して進路の選択や決定をすることができるよう支援し指導する。 4 教育相談の機能を充実させ、生徒一人ひとりが、生き生きとした学校生活を送れるように援助する。 5 生徒一人ひとりに将来の目標をもたせ、人間としての生き方に関する指導を重視し、生涯にわたって学び続け、自己表現ができる生徒を育成する。



各 学 年 の 指 導 目 標		
第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
自分を知る	進路を知る	進路を選択する
◎目標をもって充実した中学生生活を送れるようにする。 ◎自分自身を見つめる。 ◎身近な人から生き方を学び、自分の将来を考える。	◎中堅学年としての自覚をもち、健康で安全な生活が送れる用に用いる。 ◎職業や上級学校の情報を収集・整理し、自分の進路を具体的に考える。	◎最高学年としての責任ある行動が取れるようにする。 ◎将来を見通した具体的な進路の選択や決定ができるようにする。



総合的な学習の時間等を活用した指導内容	
・自分史をつくる。 ・身近な人方、生る。 ・職業を調べる。 ・障害者ととを養育する。	・職業について考える。 ・職場体験学習を行う。 ・自己の適性について考える。 ・将来の希望を考え、進路選択を進める。 ・障害理解教育を進める。 ・学んだことを発表する。
	・進路情報の収集と整理をして、自分の希望を具体化する。 ・自分の希望にそった上級学校訪問、体験入学をする。 ・進路選択、決定のための進路相談を進める。(指導・助言) ・保護者を交えた進路相談をきめ細かく行う。 ・障害理解教育を進める。



教科	道徳	特別活動	その他
①基礎基本をおさえて、わかる授業・成就感の味を味わえる授業を心がける。 ②将来の職業生活に必要な知識・技能の修得を図る。 ③授業を大切に、目標をもって計画的に学習できるようにさせる。 ④自己の能力・適性を知り、伸ばしていく能力を身につけさせる。	①望ましい職業観・勤労観を養うための指導を計画的に進め、適切な進路選択や職業生活に資する能力を養う。 ②よりよい生き方について様々な角度から考えさせ、よいことを通じて勝ち負けを育てる。進路選択の態度を育てる。	①一人ひとりの存在を認め合い、楽しく生活できるような学級づくりを工夫する。 ②学習の仕方、計画の立て方や学び方を教え、助け合う態度を育てる。 ③生徒会・学校行事・部活動に積極的に取り組み態度を養う。	①適切な進路相談を通して、一人ひとりを生かすような指導・助言をする。 ②保護者・地域社会・高等学校などの関係機関との連携を図る。 ③3年間を見通した進路指導を計画実践し、新年度に対する関心を高め、適切な進路選択ができるようにする。



進路指導の基盤
全教職員の協力態勢の確立と研修の充実 保護者会の充実と研修(学習)会の開催 関係諸機関との密接な関係づくり 生徒指導の充実と学年・学級経営の充実

平成26年度 キャリア教育（進路指導）年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	
1 学 期	4 月			「進路選択に向けて学ぶ」CD 総合 1 進路希望調査を行う。 ・進路相談（個別面談）を行う。 ・年間の進路計画を立てる。 ・進路に関する情報を調べる。 2 第1回進路説明会でガイダンスを行う。	
	5 月			「大学を体験する」BCD 総合 1 駒沢大学を訪問し、授業を体験する。 2 大学のガイダンスを受ける。	
	6 月			「勤労・社会奉仕」B 道徳 「面接指導を受ける」ABCD 夏季休業日 ・面接票を作成し、学期中に学級で事前練習をする。 「学校説明会等に参加する」AD 夏季休業日	
2 学 期	7 月		「上級学校を調べる」BCD 総合 1 上級学校の制度と機会のガイダンスを行う。 2 中学校卒業後の進路について調べる。 ・テーマを決めて調べ、まとめる。 「上級学校を訪問する」AD 宿題 1 高校訪問時のマナーを知る。 2 学校説明会等に参加する。 3 新聞から「バ」バージョン/ットを使ってまとめる。		
	8 月		「職業・人物を調べる」D 宿題 ・職業のよいところ、たいへんなところをまとめる。 ・資格や社会貢献についてまとめる。	「高校の授業を体験する」BCD 総合 1 高校の先生による授業を受ける。(1時間) 2 高校生活のガイダンスを受ける。(1時間) 「勤労・社会奉仕」B 道徳 「進路希望調査」	
		9 月	「キャリア学習を始めよう」A 1 キャリア学習とその必要性を理解する。		「進路を選択する」BCD 総合 1 学校見学、文化祭等の見学をする。(休日) 2 進路情報の収集と整理を行う。 3 第2回進路説明会でガイダンスを行う。 ・卒業生（高1男女各1名）から、受験勉強と進路選択についてガイダンスを受ける。 「進路決定に向かう」CD 学活 1 進路希望調査を行う。 ・入試までの計画を立てる。 ・三者面談、個別相談を受ける。 「面接指導、集団討論指導を受ける」ABC 放課後
3 学 期	10 月				
	11 月	「夢をふくらませよう」CD 1 夢を叶えるための課題を整理し、課題解決の手だてを考え、まとめる。			
	12 月	「勤労・社会奉仕」B 道徳 「自己の適性を知る」B 1 将来の夢と自己分析を通して、適性を調べる。 2 本やインターネットを使って職業調べをする。			
3 学 期	1 月	「働く大人から学ぶ」ACD 総合 1 職業の分野と内容のガイダンスを行う。 2 職場訪問 ・テーマを決める。 ・インタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。 「進路意識調査」	「職場体験学習を行う」ACD 総合 1 事業所の職種についての事前研究をする。 2 マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方、言葉の遣い方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方を確認する。 3 職場体験学習（3日間） ・お礼状の作成 ・働くことを実感を伴って知る。 4 まとめ ・体験したことをまとめて発表し情報を共有する。	「進路を決定する」ABCD 学活 ・一斉面接練習、集団討論練習を行う。 ・書類作成練習（願書、自己PRカード）を行う。 ・受験の心がまえのガイダンスを受ける。 「将来の夢を考える」BD 学活 ・卒業後の心がまえを学ぶ。 ・企業の社会貢献、世界貢献を学ぶ。 ・労働法規を学ぶ。	
	2 月				
	3 月				

※キャリア学習ノートを使用する。※（基礎的・汎用的能力） A：人間関係形成・社会形成能力 B：自己理解・自己管理能力 C：課題対応能力 D：キャリアプランニング能力
※社会、技術・家庭の学習内容と関連付けて実施する。

平成26年度 学校保健全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学校保健安全法 他法規		校訓 学校教育目標		生徒や地域の実態	
学校保健の目標					
生徒の健康課題を把握し、それらを生徒一人ひとりがよりよく解決していく能力や資質を身に付けさせ、生涯を通して健康で安全な生活を送ることができるようにする。					
目標達成のための取り組み					
保健管理			保健教育		
○生徒の心身と生活・環境の向上について、法令等に基づいた適切な保健管理を、マネジメントサイクルに沿って行う。 ・健康診断を法令等に基づいて計画的、効果的に行い、事後措置を適切に行う。 ・生徒の情報を学級担任等と共有するとともに、けがなどの応急処置を他の教員と連携して適切に行う。 ・健康観察、健康相談を計画的に行うとともに、感染症の予防に努める。 ・学校環境衛生検査を計画的に行うとともに、日常的な学校環境衛生活動等を適切に行う。 ・健康に問題がある生徒の保健管理について、個人情報に注意しながら適切に行う。 ・法令に基づく公表簿や各種保健調査、保健室利用状況表等を適切に整備し、定期的に管理職へ報告、相談する。 ○保健管理と保健学習、保健指導、健康相談がしやすい保健室経営を行う。			○養護教諭の特質や保健室の機能を生かした保健学習、保健指導、健康相談を基盤に、医師や関係機関などによる専門的な支援も活用する。 ・保健体育等の関連教科や道徳、学級活動等における指導内容と連動し、養護教諭がかかわる保健学習、保健指導、保健講話を充実する。 ・学校行事の健康安全・体育的行事等の保健に関する行事における保健指導を充実する。 ・感染症、熱中症、麻しん、風しん、がんの予防などの今日的な課題について指導、啓発する。 ・生徒の保健室での体験を授業にいかす。 ・学校保健統計調査や健康観察の状況、健康診断の状況と経年変化、保健室の利用状況や日常の保健指導、個別の保健指導や成長の記録でとらえた課題や情報を授業にいかす。 ・生徒会保健委員会を計画的に行い、生徒朝会で発表、啓発する。		
保健管理・保健教育に関する情報の内容と連携					
・生徒の健康状態 ・生徒の疾病の治療状況 ・学校環境衛生の実態 ・学校保健組織の活動状況 ・保健教育の実施状況 ・保健室利用状況 ・各種保健衛生統計 ・学習状況調査の考察 ・体力調査の考察 ・地域の保健・衛生の課題 ・地域の保健や医療の動向 ・人権や性にかかわる情報 ・国や世界の保健行事（歯の衛生週間、目の愛護デー、世界エイズデーなど） など					
校内連携					
・学校保健に関する研修について（教務主任等） ・生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、薬物乱用などの課題（生活指導主任等） ・けがの防止や災害時の応急処置、普通救命講習などの安全上の課題（安全教育担当教員等） ・児童虐待などのメンタルヘルスに関する課題（教育相談担当教員等） ・発達障害や聴覚障害などに関する課題（特別支援教育コーディネーター等） ・アレルギー疾患（食に関することを含む）や食中毒などに関する課題（食育リーダー等） ・性に関する健康問題、体力調査の考察などに関する課題（保健体育担当教員等） ・性同一性障害、デートDVなどの人権問題（道徳教育推進教師等） など					
学校保健委員会					
○学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進する ・学校保健計画の計画・実施・評価に関する反省やまとめ、生徒の取り組みの発表 ・今年度の目標や重点についての評価と次年度の計画 ・健康診断の実施及び結果から特に重点となる項目の分析、考察や今後の対策 ・生徒の心身の健康課題（生活習慣病を予防するための食生活、家庭や地域で取り組む体力づくり、子どものメンタルヘルスの理解とその対応、インフルエンザの予防、学校・家庭・地域が連携して取り組む性に関する指導など）					
その他					
・保健日より、HPを活用して広く広報する。全校朝会で生徒に指導、啓発する。 ・保護者会などで保護者に啓発する。また、健康上の課題がある生徒の保護者への助言を行う。 ・学び舎内の小学校や学校協議会などの情報交換や連携を綿密に行う。 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校保健会、教育委員会、保健所などと積極的に連携する。					

平成26年度 性教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
世田谷区教育要領 など

校訓 向学 誠実 調和

本校の教育目標
「自ら学び考え行動する、
人間性豊かな生徒の育成」

【中学生のこころと身体】
・第二性徴期がおとずれる
・義務教育の終了時期
・心身が大きく変化し大人への準備期間
・精神的にも不安定になりやすい

本校の性教育の目標

「正しい性の知識を得、自分のこころと身体を大切にするとともに、他人のこころと体も大切にできる人間を育成する」

- 1 心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について科学的に理解するとともに、発達途上にある自己の性を受容し、自他を大切にしようとする心情や態度を育てる。
- 2 男女の心身の特質を基に男女が互いに相手を理解し、人格を尊重する心情や態度を育てる。また、望ましい人間関係を築いていくため、より適切な意志決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。
- 3 男女の生き方は多様であることを理解し、家庭や社会における期待される役割や自己の将来の生き方について考えとともに、社会における性情報に左右されず、家庭や社会の一員として適切な判断や意志決定、行動選択ができる実践力を育てる。

【社会状況】
・情報化社会
・核家族化
・人間関係の希薄
・正しい性の情報を伝える必要性の高まり
・性的マイノリティ

各学年の指導目標

第1学年

第二性徴による体の変化とそれに伴う悩みや不安について学び理解する。

第2学年

人間の誕生より、生命の尊さ、命のつながりを知る。

第3学年

家族計画や性感染症(HIV等)について学び、自分も他人も大切にできる生き方を選べるようにする。

駒沢中学校での指導

保健体育

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・思春期の体の変化を学ぶ。
- ・月経、射精のしくみについて学ぶ。
- ・生命の誕生について学ぶ。
- ・性感染予防(HIVふくむ)について学ぶ。

理科

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・自他の生命の尊重をする。
- ・細胞のつくりとはたらきを学ぶ。
- ・生命を維持するはたらきを学ぶ。

技術・家庭

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・家庭や家族、幼児時期の生活について学ぶ。

社会

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・様々な権利と、その権利獲得の歴史を学ぶ。

国語

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・表現力を養う。

外国語

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・表現力を養う。

特別活動

- ・助産師による学年講話
- ・養護教諭による保健指導
- ・宿泊行事前指導
- ・担任によるクラス指導

個別指導

- ・教員による個別指導
- ・養護教諭による個別指導

数学

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。

音楽

- ・豊かな情操を育てる。
- ・表現力を養う。

美術

- ・豊かな情操を育てる。
- ・表現力を養う。

道徳

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・たがいを認め合う心を育てる。
- ・社会参加と自己実現について学ぶ。
- ・男女の協力や公共心を育てる。

教科「日本語」

- ・自尊感情、自己肯定感を育てる。
- ・深く考え、たがいを認め合う心を育てる。

小学校での指導

継続・発展

連携

家庭・保健所・学校医・地域等

平成26年度 学校保健計画

年間目標 生徒自ら健康を保持増進できるようにする

駒の学舎 世田谷区立駒沢中学校

月	4	5	6	7・8	9
保健目標	- 自分の健康や発育状態を知る - 健康診断の目的を知る	- 定期健康診断結果での異常を速やかに治療する - 運動会のけがを予防しよう	- 歯を大切にしよう - 修学旅行中安全に過ごそう - 食中毒を予防しよう	- 夏を健康に過ごそう - プールの事故を防止しよう - 朝ごはんを食べよう	規則正しい生活をしよう
学校保健関連連行事	- 定期健康診断 (計測・視力・内科・腎臓・結核) - アレルギー面談 - アレルギー対応委員会開催	- 定期健康診断 (耳鼻科、眼科、心臓、歯科、色覚健康相談等) - 修学旅行事前検診 - 世界禁煙デー (5月31日)	- 歯の衛生週間 - 修学旅行 - プール前健康相談	- 鼻の日(8月7日) - 生活習慣病予防検診 - アナフィラキシー対応シミュレーション訓練	- 結核予防週間 - 移動教室前検診(1年)
環境	- 教室の照度・照明検査 - 水質検査 - 保健室の整備 - 嘔吐処理セット整備	- 給食室施設点検 - 水質検査 - 薬品点検	- プール施設設備検査 - ダニアレルゲン検査 - 水質検査	- 教室の空気検査 - 空気中化学物質検査 - 水質検査 - オージオメーター検査 - 保健室寝具消毒	- 水質検査 - 薬品の点検
生活	- 保健調査 - 定期健康診断の実施 - 治療勧告発行	- 定期健康診断の事後指導 - 定期健康診断統計作成 - 修学旅行生の健康把握	- 定期健康診断の事後指導 - 健康上注意生徒把握 - 心・腎管理指導表配布	- 定期健康診断結果通知 - 未治療生徒への治療よびかけ	管理指導表・治療勧告書の回収
保健指導 保健学習	- 健康診断の目的・正しい受け方 - 保健室の利用の方法 - 保健だよりの発行(毎月)	- 健康診断結果の見方、早期治療の必要性について - 喫煙防止教育 - 運動会においてのけが予防	- 歯科講話・歯科個別指導 - 口腔の健康 - 水泳時の健康管理	- 夏休みの過ごし方 - 熱中症予防	- リズムある生活(食事・睡眠・運動) - 防災の日、救急の日 - 夏休みの反省 - 移動教室(1年)の健康管理
生徒会活動	前期委員会組織づくりと年間計画作成	生徒総会準備	せつけん班・広報班に分かれ活動	1学期の反省	前期委員会反省
組織活動等	- 学校保健年間計画提示 - アレルギー対応、健康上注意すべき生徒の職員間共通理解				
個別指導	- 保健室来室者への対応 - 発育、発達に関する指導	- こころの健康、不登校者への支援 - 基本的な生活習慣に対する指導 - 生活習慣病予防検診要観察者への生活習慣指導	健康診断の事後指導(治療勧告)		
性教育	- 養護教諭における個別指導(通年) - 教員における個別指導(通年)	- 修学旅行前の性教育 - 心身の機能の発達(保健体育)	思春期の心とからだ(1年、養護教諭による)	移動教室(1年)前の性教育	

学校保健計画	
年間目標	生徒自ら健康を保持増進できるようにする

24

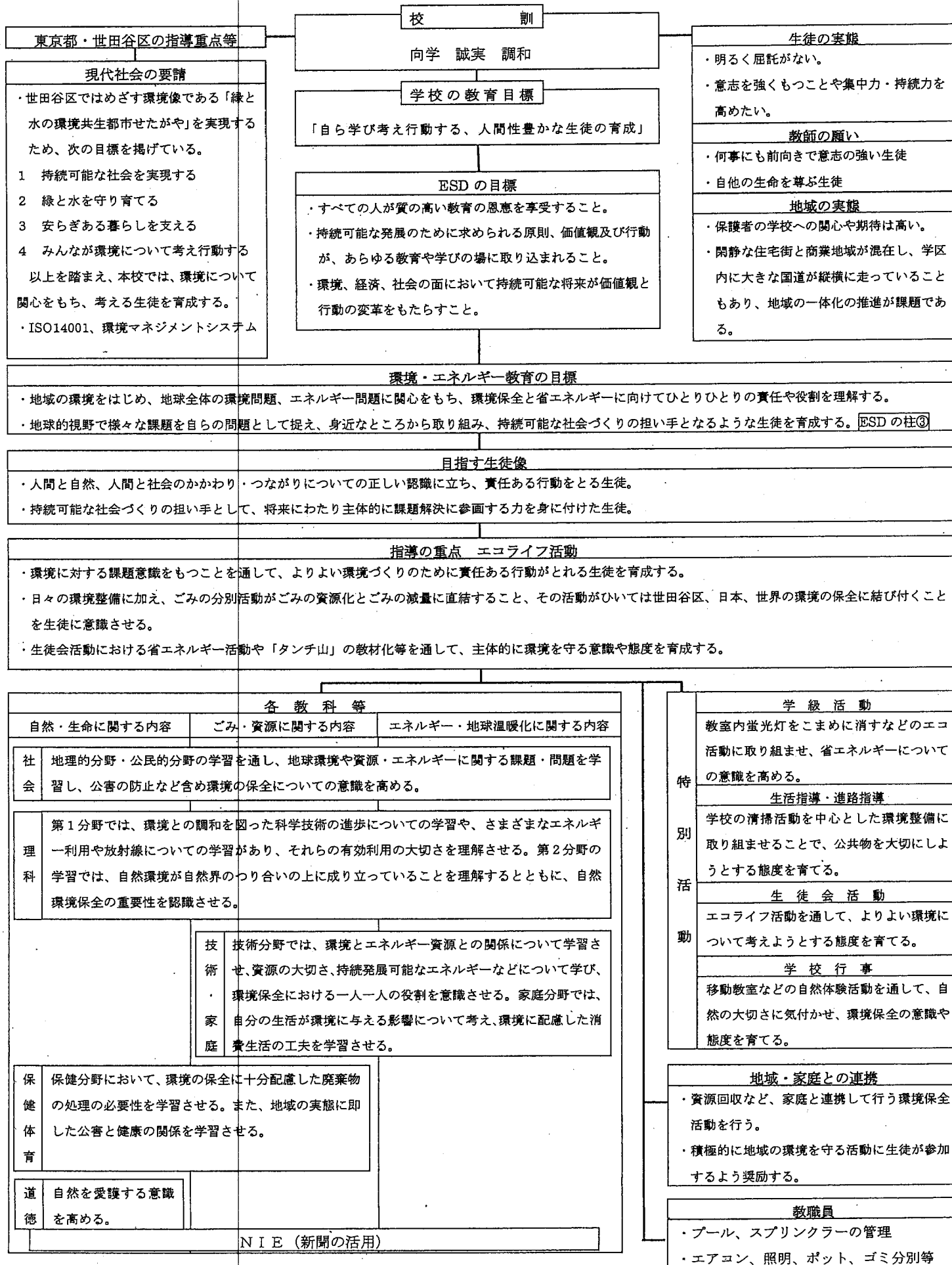
平成26年度 ESD年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1年	社:世界のすがた 理:身近な生物の観察 美:色彩について 体:体づくり 技:情報とわたしたちの生活	国:ものづくりに生きる 理:衣生活と自立(着る目的)	国:変わる動物園 社:文明のおこりと日本のはじまり 理:身体機能の発達・生活にかかわる機能の成熟 技:ネットワークと情報セキュリティ 英:リサイクル活動	理:いろいろな物質 音:郷土の音楽 社:情報モラルと知財 家庭:生活と自立(環境への配慮) 日:環境先進国 江戸	国:アラスカとの出会い 音:世界の民謡民舞の音楽を奏しよう	国:若者が文化を創造する 社:世界から見た日本のすがた 技:材料の加工に関する技術とわたしたちの未来	理:気象観測 音:幼児の心身の発達と生活 英:If You Wish to See a Change	理:光の性質 音:詩と旋律 日:人とのつながり	理:書の性質 体:精神の発達と自己形成 技:技術を見つつけよう	技:物づくりの工夫と進め方 家:調理と食文化 日:職業と好きなこと	数:資料の整理 理:地震 体:運動やスポーツの多様性	国:20年後	
2年	理:物質の成り立ち 体:体づくり	理:細胞のつくりと働き 美:モダンテクニック 英:Charity Walk	理:生命を維持するはたらき 音:郷土の音楽 体:身体能力、空通面図・応急手当	理:いろいろな物質 音:世界の音楽 社:情報モラルと知財 家庭:生活と自立(環境への配慮) 日:環境先進国 江戸	国:アラスカとの出会い 音:世界の民謡民舞の音楽を奏しよう	国:若者が文化を創造する 社:世界から見た日本のすがた 技:材料の加工に関する技術とわたしたちの未来	理:気象観測 音:幼児の心身の発達と生活 英:If You Wish to See a Change	理:光の性質 音:詩と旋律 日:人とのつながり	理:書の性質 体:精神の発達と自己形成 技:技術を見つつけよう	技:物づくりの工夫と進め方 家:調理と食文化 日:職業と好きなこと	数:資料の整理 理:地震 体:運動やスポーツの多様性	国:20年後	
3年	体:体づくり 技:電気機器の安全な利用	国:言葉の共有 美:空想画 日:「技」国宝	理:仕事とエネルギー 音:世界各地の楽器の音楽 体:健康な生活と疾病の予防	理:いろいろな物質 音:世界の音楽 社:情報モラルと知財 家庭:生活と自立(環境への配慮) 日:環境先進国 江戸	国:アラスカとの出会い 音:世界の民謡民舞の音楽を奏しよう	国:若者が文化を創造する 社:世界から見た日本のすがた 技:材料の加工に関する技術とわたしたちの未来	理:気象観測 音:幼児の心身の発達と生活 英:If You Wish to See a Change	理:光の性質 音:詩と旋律 日:人とのつながり	理:書の性質 体:精神の発達と自己形成 技:技術を見つつけよう	技:物づくりの工夫と進め方 家:調理と食文化 日:職業と好きなこと	数:資料の整理 理:地震 体:運動やスポーツの多様性	国:20年後	
道徳	1年 平和の願いを世界へ	2年 目標に向かって苦しみながら歩む	3年 自然と向き合って生きる	1年 今を生きて大切さ	2年 よりよい自己の追求	3年 目標に向かって著実に歩む意志	1年 いろいろな人と生きる(障害理解教育)	2年 集団の中で生きる	3年 郷土と文化を知る(伝統文化について調べる)	1年 中学校生活からかわりやつながりを学ぶ	2年 集団の中で生きる	3年 日本文化の中で生きる意味を考える	☆学校エコライフ活動 ☆JRC部 ☆ONIE
特別活動	1年 今を生きて大切さ	2年 よりよい自己の追求	3年 目標に向かって著実に歩む意志	1年 今を生きて大切さ	2年 よりよい自己の追求	3年 目標に向かって著実に歩む意志	1年 いろいろな人と生きる(障害理解教育)	2年 集団の中で生きる	3年 郷土と文化を知る(伝統文化について調べる)	1年 中学校生活からかわりやつながりを学ぶ	2年 集団の中で生きる	3年 日本文化の中で生きる意味を考える	☆学校エコライフ活動 ☆JRC部 ☆ONIE
総合的な学習の時間	1年 いろいろな人と生きる(障害理解教育)	2年 集団の中で生きる	3年 郷土と文化を知る(伝統文化について調べる)	1年 中学校生活からかわりやつながりを学ぶ	2年 集団の中で生きる	3年 日本文化の中で生きる意味を考える	1年 中学校生活からかわりやつながりを学ぶ	2年 集団の中で生きる	3年 郷土と文化を知る(伝統文化について調べる)	1年 中学校生活からかわりやつながりを学ぶ	2年 集団の中で生きる	3年 日本文化の中で生きる意味を考える	☆学校エコライフ活動 ☆JRC部 ☆ONIE

平成26年度 環境・エネルギー教育全体計画

ESD③



A 自然・生命に関する内容 B ごみ・資源に関する内容 C エネルギー・地球温暖化に関する内容

項目	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
社会	(A)、(C)世界のさまざまな地域(1年) (B)、(C)近世の日本と世界(2年) (B)近代化の進む世界と日本	(A)、(B)、(C)世界の諸地域(1年) ◎私たちと現代社会(3年)									
理科	(A)植物の生活と種類(1年) (A)動物の生活と生物の進化(2年) (A)生命の連続性(3年)	(A)自然世界のつり合い(3年)									
技術・家庭	<技術> (A)生物育成に関する技術(1年) (B)、(C)エネルギー変換に関する技術(3年) <家庭> (B)住生活と自立(2年)	(A)食生活と栄養(1年) (B)、(C)エネルギー変換に関する技術(2年)									
保健体育	(A)、(B)、(C)健康と環境(2年) (A)、(B)、(C)健康な生活と疾病の予防(3年)										
道徳	(A)自然愛、畏敬の念(2年) (A)自然愛、畏敬の念(3年)	(A)生命尊重(1年) (A)生命尊重(3年)	(A)生命尊重(3年)	(B)、(C)日本人としての自覚、人類愛(3年)							
学級活動	(C)教室照明の節約(全学年)	(C)教室空調の温度設定(夏季)	(C)教室空調の温度設定(冬季)								
生徒会活動	環境教育啓発掲示板の管理	落ち葉掃き									
学校行事	(A)運動会(全学年) (A)修学旅行(3年)										
進路指導 生活指導	(B)校内清掃(全学年)	(B)大掃除 (B)、(C)職業調べ(1年)	(B)、(C)職業調べ(1年)								
環境教育に関する 組織活動	(B)資源回収(インクカートリッジ)(通年) エコライフ活動	(B)、(C)打ち水活動 (C)緑のカーデン									

平成 26 年度 防災教育全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

ESD③

生徒の実態

校訓・教育目標

防災教育の目標

地域の実態

- ・災害の自然的・社会的要因を知り、今後の学校、地域の防災体制を考え、持続可能な社会の実現に貢献する意欲を高める。ESDの柱③
- ・過去の災害や他地域の災害例、NIEなどから危険を理解し、災害への日常的な備えや的確な避難行動ができるようにする。
- ・災害発生時に自ら危険を予測し回避するための主体的に行動する態度を育成し、災害から生命を守るのに必要な能力や資質の向上を図る。
- ・人間としての在り方・生き方を考え、生命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等（共助・公助の精神）の大切さについて理解を深め、被災時には地域の力になろうとする実践力を高める。

推進の視点

防災体制の整備充実

- ・教職員の役割の明確化と家庭や地域及び関係機関との連携、防災マップの周知
- ・災害時の危機管理能力の向上と避難所支援マニュアルの整備（学校運営委員会）
- ・日常の安全管理と避難経路の点検

新たな防災教育の推進

- ・教育活動全体を通じた防災教育の推進
- ・副読本「3・11を忘れない」「明日に生きる」「放射線について考える」の活用
- ・長期的な心のケア（相談機能）の充実
- ・効果的な安全指導と防災訓練の実施

指導力・実践力の向上

- ・教職員の防災リテラシーや応急処置能力の向上、スタンドパイプ等の研修
- ・心のケア等の校内研修会の充実
- ・学校協議会、地域合同防災訓練の実施
- ・町会防災訓練、被災地との交流（試行）

各学年の目標

第1学年

- ・人間としてかけがえのない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考える。
- ・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。
- ・自然災害について知り、地域の状況をとらえることによって災害の備えについて考え、防災意識の向上を図るとともに、避難所としての学校の役割を考える。

第2学年

- ・非日常的な生活を強いられた仲間の心情や被災児童生徒の悲しみや苦しみの深さにふれることで、生命の重さや尊さについて考える。
- ・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的にかわろうとする態度を養う。
- ・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の被害への備えなどを調べ、地域における防災体制を考える。
- ・地域の安否確認、救出、救護、消火への協力を考える。

第3学年

- ・やさしさや思いやりの心を持ちながら生きていくことの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。
- ・地震のメカニズムを理解し、安全で快適な町づくりをするために必要な環境整備について関心をもつ。
- ・災害時における学校が果たす役割について理解し、地域防災の担い手として、学校と地域の人々とのつながりを考える。

教科

- ・科学的思考力・判断力の育成
- ・災害のメカニズム、地域特性、地域での支え合い、防災体制等の知識・技能
- ・防災意識の高揚
- ・ボランティア精神の育成
- ・応急処置法、AEDの体得
- ・非常時の食、ライフライン
- ・ESD、防災用語、防災作文

道徳

- ・生命尊重の精神の育成
- ・差別意識の解消、異文化理解、共生等、人権尊重の精神の育成
- ・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心情の育成
- ・仲間を大切に、かわり、つながろうとする心情の涵養

特別活動

- ・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や行動等実践的能力の育成
- ・互いに協力し合い、自ら困難を克服する態度や実践的能力の育成
- ・仲間とのかかわり、つながり
- ・自主的な活動やボランティア活動の実践

総合的な学習の時間

- ・ボランティア精神及び実践的態度の育成
- ・地域の災害の歴史を学び、今後の防災体制について考える態度の育成
- ・防災意識の高揚（家庭における防災の話し合いの啓発）
- ・ボランティア活動の実践
- ・ESDの取り組み

平成26年度 安全指導全体計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 東京都、世田谷区 教育委員会教育目標	校 訓	生徒の実態 保護者・地域社会の 要望 保護者・地域との 連携
	向学 誠実 調和	
	学校教育目標	
	自ら学び考え行動する人間性豊かな生徒の育成	

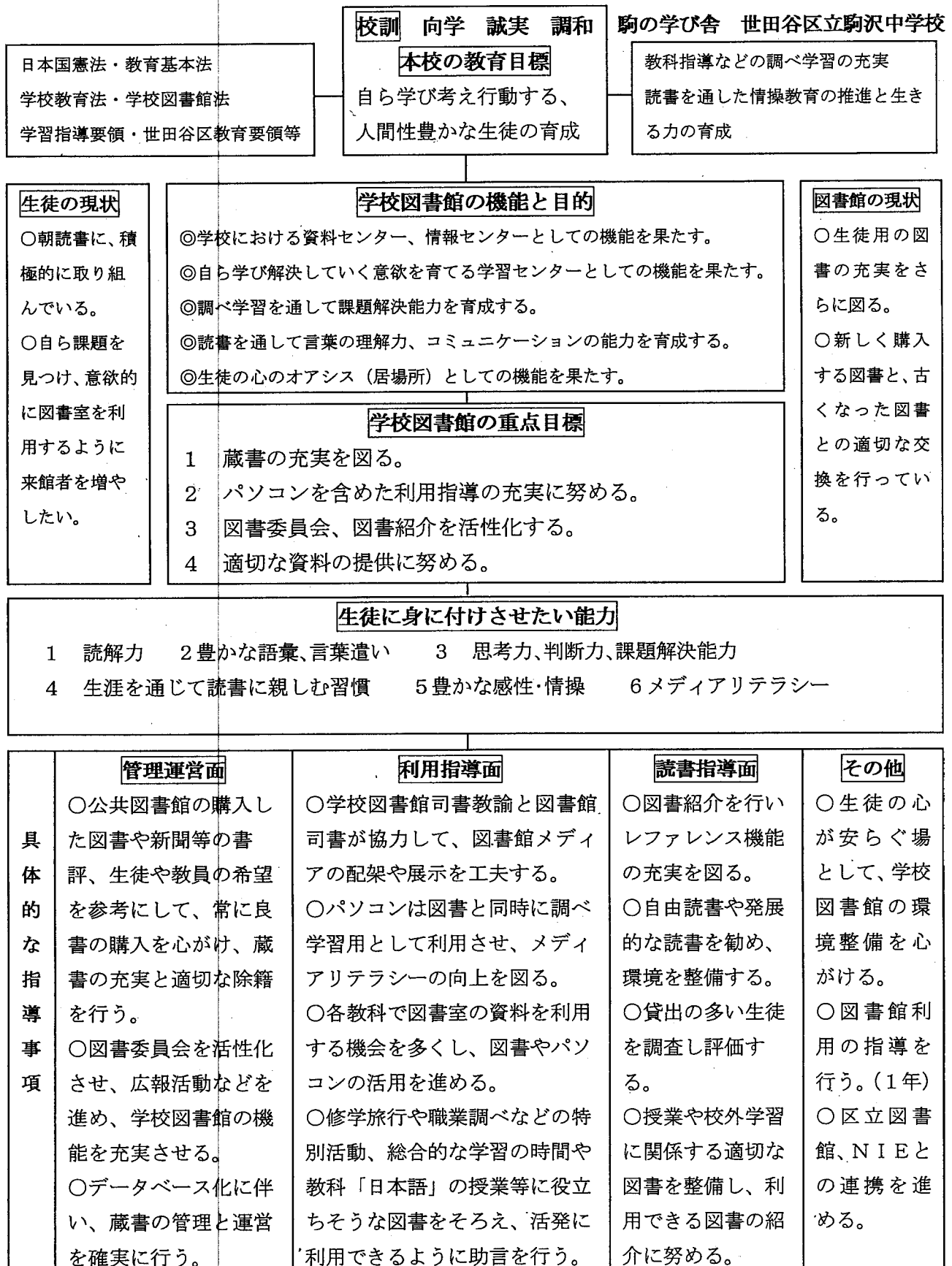
安全 教 育 目 標	学 校 安 全 管 理 目 標
安全に生活することについての意識を高め、自他の生命を尊重し安全な生活を営む態度や実践力を育む	学校生活を安全に営むための環境を整備し充実させる

安全 教 育	安 全 管 理
○安全について必要な事柄を理解し、日常生活に生かし、常に安全な行動ができる。 ○危険を予測し、回避する能力を身に付けさせる。 (生活安全、交通安全、災害安全) ・全教育活動における指導 ・学校安全・体育的行事における指導(セーフティ教室、避難訓練) ・生徒会活動における指導 ・不審者情報による指導 ・地域安全マップによる安全指導 ・個別的な安全指導 ・「安全教育プログラム」「地震と安全」NIEなどの活用	○生徒の学習、生活環境の安全性の確保及び維持を図る。 ・定期及び臨時の安全点検と事後措置 ・通学路の確認と通学のきまりの設定 ・防災計画、防災施設点検 ・緊急地震速報受信点検 ・避難所運営マニュアルの点検 ・安全に関する諸調査 ○理科、美術、保健体育、技術・家庭 ・劇物、毒物、薬品等の管理 ・刃物、機械などの管理 ・用具、プール、校庭固定物などの管理
月1回の安全指導	

教 科	総合的な 学習の時間	道 徳	特別活動	
			学級活動	学校行事・生徒会活動
学習を通して、安全な生活を送るための基礎基本となる知識・技能を習得する。	安全について自らの課題に気づき、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。	安全な生活を送るために必要な道徳的心情・道徳的判断力・道徳的態度を養う。	自他の生命を尊重し日常生活を安全に過ごすために必要なことを理解するとともに、進んできまりを守り、規則正しい生活を送ることができる能力や態度を育てる。	自発的・自治的な実践活動を通して、安全に対する主体的実践力を育てる

[illegible]

平成26年度 学校図書館運営全体計画



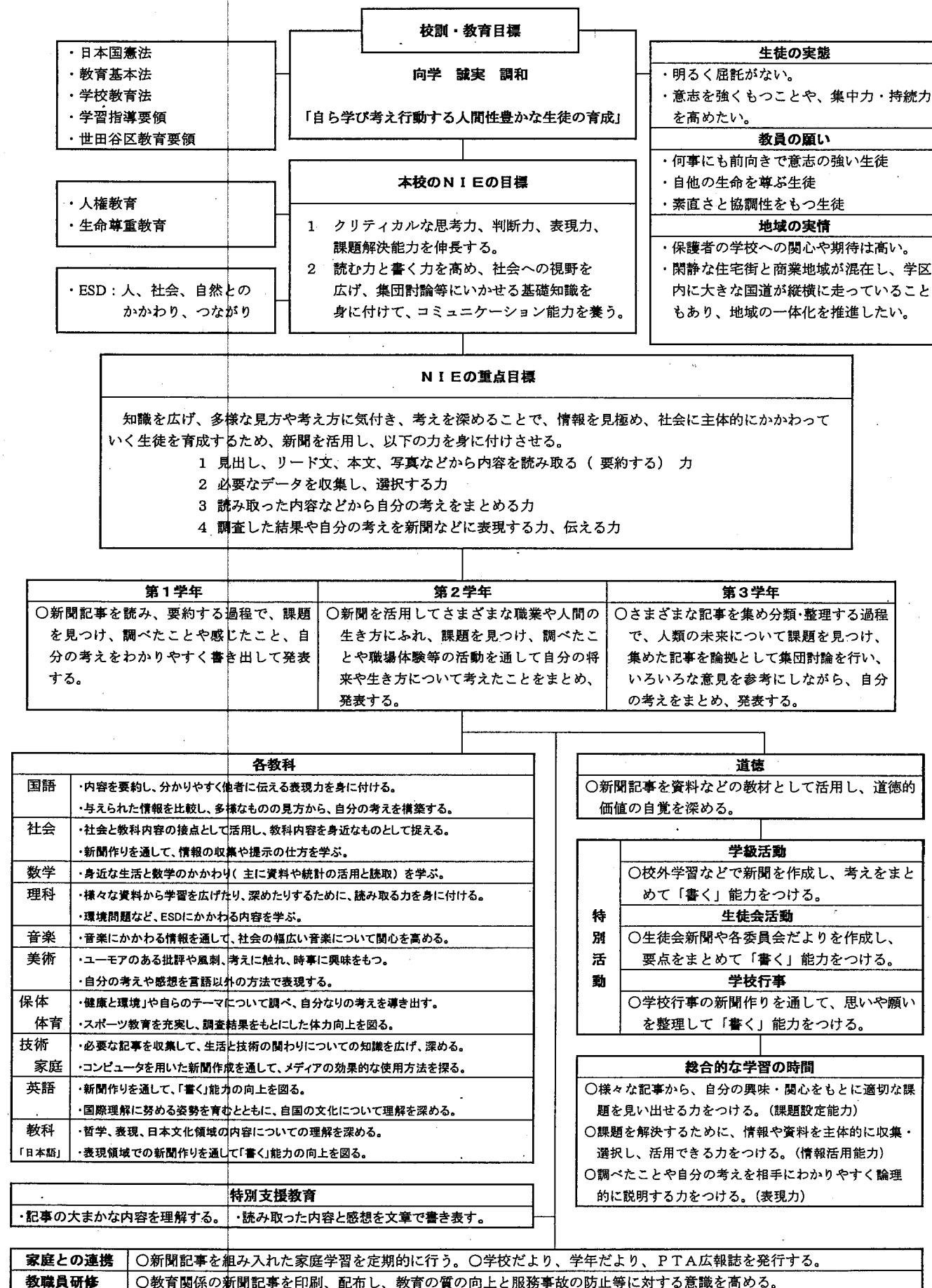
平成26年度 学校図書館年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	国：図書室の使い方 国：辞典の使い方 国：世界のさまざまな国を表現する言葉	日：越後縮 日：環境先進国 日：江戸	日：ショートパ ンツ初体験イン アメリカ	国：読書指導 社：世界の諸地 域 技：情報モラル と知的財産 学：移動教室に ついて				国：故事成語 社：中世の日本 と世界	国：読書指導 社：日本のさま ざまな地域 数：資料の活用	家：調理と食文 化 学：都内調べ	日：職業と好き なこと	日：二十一世紀 に生きる君たち へ
2年	国：好きな詩 社：近世の日本 と世界	保体：健康と環 境 日：私のニュー ス解説	国：短歌十五首 家：日常食の調理 学：移動教室に ついて	国：読書指導 社：世界の諸地 域			社：近代化の進 む世界と日本 理：動物の仲間	国：論語 理：生物と進化	国：読書指導 社：日本の諸地 域 音：文楽・歌舞 伎			日：私の見つけ た美しいことば
3年	社：近代化の進 む世界と日本 学：京都・奈良 調べ（修学旅 行） 日：食のしきた り	美：名画の模写 保体：健康と疾 病の予防 技：機器の安全 と保守点検 日：日本料理に 興行きを与えた 発酵文化	国：俳句十五句 美：名画の模写 日：食器随想 著	国：読書指導 社：現代の日本 と世界 日：歌舞伎		日：和服	日：日本の家 系	理：太陽系と銀 河系	国：読書指導 家：地域の食文 化	日：伝統と鍋島 と私	日：住まいの特 徴	日：華道や茶道
1年	中学校生活のガ イダンス		障害理解教育			自分を 知る	身近な大人から学 ぶ			将来の希望と進路を考 える		
2年		上級学校について知 る				職業について考 える		職場体験の事前研究・準備		職場体験のまとめ		
3年			進路選択学習			進路選択学習				障害理解教育		
1年	中学校生活を知る					自分史をつくる	人の生き方を知る				将来を考 える	
2年	社会に生きる（1）		将来に生きる			将来に生きる				社会に生きる		
3年	郷土と文化を知る（修学旅行の取り組み）	豊かに将来を開 く（1）				豊かに将来を開く（2）				豊かに将来を開く（3）		
読書活動等	・朝読書 ・図書室の使い方 ・図書委員会 ・図書だより ・本の購入	・朝読書 ・図書委員会 ・配架 ・図書だより	・朝読書 ・図書委員会 ・図書だより	・朝読書 ・調べ学習支援 ・夏休み開館 ・書棚整理		・朝読書 ・図書委員会 ・本の購入	・朝読書 ・図書委員会 ・配架 ・図書だより	・朝読書 ・図書委員会 ・図書だより	・朝読書 ・図書委員会 ・図書だより ・冬休み開館 ・本の購入	・朝読書 ・図書委員会 ・配架 ・図書まつり	・朝読書 ・図書委員会 ・図書だより	・朝読書 ・図書委員会

NIE（教育に新聞を）全体計画

ESD



平成26年度 NIE（教育に新聞を）年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1年	国：図書室の使い方ガイダンス 国：辞典の使い方 社：世界のさまざまな国を季節を表す言葉	日：越後橋 日：環境先進国 日：江戸	日：ショートパ ンツ初体験イン アメリカ	国：読書指導 社：世界の諸地 域 技：情報モラル と知的財産		国：読書指導 社：世界の諸地 域 技：情報モラル と知的財産	理：火山の活動 技：情報の表現 方法・手段	国：故事成語 社：中世の日本 と世界	国：読書指導 社：日本のさま ざまな地域	家：調理と食文 化 学：都内調べ	日：職業と好き なこと 技：作物の栽培	日：二十一世紀 に生きる君たち へ 数：資料の活用	
2年	国：図書室の使い方ガイダンス 国：好きな詩 社：好きな日本 と世界	保体：健康と環 境 日：私のニュー ス解説	国：短歌十五首 家：日常食の調理 日：日常食の調理 日：日常食の調理	国：読書指導 社：世界の諸地 域 音：世界の諸民 族の音楽に親し もう		学：鎌倉調べ 技：材料と加工 に関する技術	社：近代化の進 む世界と日本 理：動物の仲間	国：論語 理：生物と進化	国：読書指導 社：日本の諸地 域 音：文楽・歌舞 伎	国：情報と表現 家：消費生活と 環境	技：エネルギー 変換を利用した ものづくり	日：私の見つけ た美しいことば	
3年	国：図書室の使い方ガイダンス 社：近代化の進 む世界と日本 学：京都、奈良 と調べ 日：食のしきた り	美：名画の模写 保体：健康と疾 病の予防 技：機器の安全 と保守点検 日：日本料理に 興行を与えた 異文化	国：俳句十五首 美：名画の模写 日：食器の歴史 著	国：読書指導 社：現代の日本 と世界 日：歌舞伎		日：和服 社：国民権	日：日本の家 社：平和主義	理：太陽系と銀 河系	国：読書指導 家：地域の食文 化 社：市場経済の しくみ	日：伝統と島 と私 社：生産のしく みと企業 数：糖本調査	日：華道と茶道 社：国際社会	社：持続可能な 未来へ	
1年	今を生きる大切 さ	日々の心構え	善意や支えへの 感謝	よりよい集団づ くり		好ましい世の中	自然を愛する心 人間のすばらし さ 働くということ	国を思う心 郷土を愛する心	誠実な行動と責 任	真の国際貢献	思いやり	くじけない心	いじめ防 止 掲示版
2年	自分を好きにな る	社会秩序を高め る	ともに生きる社 会	責任ある判断		強い正義感	人間協力を考え る	国協力を考え る	社会への奉仕	国を愛する心	良心に恥じない 生き方	郷土の一員とし ての自覚	
3年	真理を愛する生 き方	美しい生活習慣 の養成	生命の尊さ 自然への畏敬	試験が育てる友 情		深い人権愛 いじめを許さぬ 心	郷土を愛する心 法の理解と遵守	伝統の継承 つながりあう社 会	伝説の継承 つながりあう社 会	役割の自覚	志高く生きる	きまわりを守る	
1年	中学校生活のガイ ダンス	SMSトラブル 防止	自分史をつくる			移動教室 (河口湖・富士 山) 調べ			職場体験の事前研究・準備	都内巡り調べ	職業調べ		社説要約 今日のト ピック
2年	SMS	上級学校について知る 移動教室 (河口湖) 調べ				職業について考 える				職場体験のまとめ 録倉校外学習調べ・まとめ			
3年	SMS	進路選択学習	進路選択学習			進路選択学習		食育				国際理解	
1年	中学校で生きる	自分を生きる											NIE掲示 板
2年	社会に生きる (1)	将来に生きる 校外学習研究											
3年	郷土と文化を知る (修学旅行の取り組み)	豊かに将来を開 く (1)	豊かに将来を開 く (2)	豊かに将来を開 く (3)									
家庭学習等	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	・週末宿題	

オリンピック教育 全体計画

ESD

・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・世田谷区教育要領	校訓・教育目標 向学 誠実 調和 「自ら学び考え行動する人間性豊かな生徒の育成」	生徒の実態 ・意志を強くもつことや、集中力・持続力を高めたい。 ・持久力や柔軟性に課題がある。
・人権教育 ・生命尊重教育	本校のオリンピック教育の目標	教員の願い ・何事にも前向きで意志の強い生徒 ・自他の生命を尊ぶ生徒 ・素直さと協調性をもつ生徒
・ESD（人、社会、文化とのかかわりやつながり）	(1) 努力する喜びや他者への尊重、フェアプレイ、平和な社会の推進等の精神を醸成する。 (2) 体力の向上とともに、コミュニケーション能力を培い、運動する意欲や楽しさを教え、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けさせる。	地域の実情 ・保護者の学校への関心や期待は高い。 ・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に国道が縦横に走っていることもあり、地域の一体化を推進したい。

オリンピック・パラリンピック教育の重点目標 (1) 「努力する喜び」「フェアプレイ」「他者への尊重」「卓越さの追求」「身体、意思、心の調和」の5つの教育的価値をもつオリンピック教育を取り入れ、心と体のバランスにも重点を置き、心身共に健やかな生徒の育成を目指す。 (2) 運動環境の整備を進め、心身の健康・体力の保持増進を図るとともに、保健体育・道徳・特別活動等に係る横断的な授業や運動系の部活動の充実を図ることで、生涯スポーツの基礎を培う。 (3) オリンピック教育やスポーツ教育の充実、運動系の部活動の充実を通して、生徒に夢や希望、あこがれをもたせるとともに、心身の調和のとれたよりよい人間性をはぐくむ。 (4) 「チャレンジ」「チームスピリット」「フェアプレイ」「心身に健全」「革新」「責任感」などのパラリンピックの精神を取り入れ、勇気や希望を大切にするとともに、障害者にとってのスポーツの意義などを通して、共生社会を形成する生徒を育成する。

オリンピック・パラリンピック教育と体方向上（体育・健康）に関する指導の計画 (1) 体力・運動能力の実態把握 ・新体力テストの実施及び結果の分析と課題の明確化を行う。 (2) 保健体育の授業の充実 ・新体力テストの結果を活用して生徒自身が「マイトレーニングプログラム」を作成する。 ・保健体育のスポーツ理論の単元では、東京都教育委員会が作成した「スポーツの起源と発展」を活用しながら授業を進める。 ・陸上や水泳、球技等の単元の導入では、その競技のトップアスリートを紹介し、その生き方にも触れながら授業を進める。	(3) 体育的行事の工夫 ・目的意識と協力する精神を高め、事前指導を充実する。 (4) 保健、食に関する指導の充実 ・規則正しい生活習慣の確立を推進する。 ・給食主任と連携して食に関する指導を充実する。 (5) 障害理解教育の充実 ・パラリンピアンを講師として招き、講演やデモンストレーションを通じて、障害のある人にとってのスポーツの意義や共生社会などについて学習する。
---	---

各教科	
国語	・広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養う。
社会	・バリアフリー社会について具体的に話し合って考え、表現する態度と、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。
数学	・自ら課題を見だし、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善する態度を育てる。
理科	・科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていることを理解させ、実践しようとする態度を育てる。
音楽	・生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにするなどのコミュニケーション能力を養う。
美術	・対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力を伸ばす。
技術 家庭	・ユニバーサルデザインや暮らしやすい社会について、考えたり話し合ったり伝えたりする態度を育てる。
英語	・外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てる。
教科	・人が生きることの意味、人と人とのつながりについて考えたり話し合ったりすることを通して、豊かに、論理的に考える態度を養う。

特別支援教育	
・パラリンピックを通して障害者に対する理解を深め、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境や雰囲気をつくる態度を育てる。	

啓発活動	
・オリンピック・パラリンピック掲示板を校内に設置するとともに、ホームページにオリンピック教育のコーナーを作成して啓発する。	

道徳	
・世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。	

特別活動	学級活動・生徒会活動 ・集団の一員として、よりよい生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
	学校行事 ・心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などを図る。

総合的な学習の時間	
・国際理解教育や障害理解教育において、生活や文化を体験したり調査したりするなどの学習活動を通して、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。	

部活動	
・外部指導者や地域との連携を強化しながら、生徒がスポーツや文化に親しみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力の育成、コミュニケーションの充実と体力の向上を図る。	

学び舎小学校との連携	・駒の学び舎の各学校で新体力テストの結果を分析し、その分析結果をもとに、学び舎合同会議で話し合い、駒の学び舎としての体力の傾向や小中学校での重点的な取り組み（プログラム）を考察する。
地域との連携	・本校の部活動と地域のこまざわスポーツ・文化クラブ(KSCC)との交流や、運動系の部活動に所属していない生徒がKSCCに参加することで、よりスポーツに楽しさや魅力を感じ、運動を継続して行うことの楽しさや大切さを味わわせる。 ・地域の青少年地区委員会が主催しているスポーツ大会の運営を支援し、地域との交流を図るとともに、生涯スポーツに親しむ心を育成する。

平成26年度 オリンピック教育年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1年	社：世界のさまざまな地域 保体：陸上競技	社：陸上競技 保体：陸上競技	社：世界の諸地域 保体：陸上競技	数：統計グラフ 保体：陸上競技		保体：水泳 技：デジタル作品の設計と製作	保体：器械運動	章：イメージと音楽 保体：武道	保体：長距離走	社：世界のさまざまな地域 保体：球技(ゴール型)	国：自由訳「イマジン」 保体：体育理論	国：スロベニアの風に吹かれて 音：アジアの音楽に親しもう 保体：ダンス	
2年	数：真理の追究 保体：生活と自立	美：モダンデク 保体：陸上競技	国：サウカスの馬 保体：傷害の防止	音：世界の諸民族の音楽に親しもう 保体：球技(ネット型)		社：世界から見た日本のすがた 保体：水泳	理：気象のしくみと天気の変化 保体：器械体操	美：アートガラ 保体：武道	保体：健康と環境	音：日本の総合芸術 保体：球技(ゴール型)	国：言葉のいのち 社：近世の日本	保体：ダンス 技：エネルギー変換に関する技術とわたしたち	
3年	社：私たちが現代社会 英：旅行ガイド	国：生活や学習に生かそう 社：二つの世界	音：世界各地の楽器の音楽 英：道案内	社：現代の日本と世界 音：名曲の鑑賞とプレゼンテーション		国：デザイン画 英：日本文化紹介	美：デザイン画 保体：器械運動	英：買い物 保体：球技(ゴール型)	社：私たちの生活と経済 技：プログラムによる計測・制御	国：パールのハーバーの産業 家：調理と食文化	社：国際社会を生きる 数：真理の追究	理：地球の明るい未来のために 技：情報に関する技術とわたしたち	
1年	よりよい自己の探求	自分をきかえよう	目標に向かう意志	弱さの克服		公德を導ぶ心 礼の精神	真の友情 きまりの意義	国を思う心 他に学ぶ姿勢	誠実な行動と責任	真の国際貢献	公正、公平な社会	くじけない心	
2年	よりよい自己の追求	社会秩序を高める	目標に向かう意志 他に学ぶ姿勢	誠実な心		夢をもち続ける生き方	人間のすばらしさ	国際協力を考える	時と場に応じた礼儀	国を愛する心	良心に恥じない生き方	他を思いやる心	
3年	真理を愛する生き方	信頼に支えられた友情	夢を追い求める心	試験が育てる友情		生きている喜び いじめを許さぬ心	思慮深い判断と責任	法の理解と遵守	公正、公平な心	役割の自覚	志高く生きる	きまを守り	
1年	障害理解教育	自己の適性を学ぶ	自己の適性を学ぶ	食育指導		生徒会活動の意義と参加	所属意識の充実	ボランティア活動	地域学習	地域学習	地域学習	ボランティア活動	社説要約
2年	話し合い活動	話し合い活動	所属意識の充実	食育指導		生徒会活動の意義と参加	所属意識の充実	ボランティア活動	地域学習	地域学習	ボランティア活動	ボランティア活動	今日のトピック
3年	地域学習 日本文化の探究	自己の適性を学ぶ	自己の適性を学ぶ	食育指導		同一行動の習慣化	所属意識の充実	ボランティア活動	進路選択・進路決定と将来の夢	進路選択・進路決定と将来の夢	進路選択・進路決定と将来の夢	進路選択・進路決定と将来の夢	進路選択・進路決定と将来の夢
1年													
2年													
3年													
総合的な学習の時間													
1年													
2年													
3年													
特別支援教育													

社会に適応し、自立していくために、社会生活に必要な一人一人に合った実践的なコミュニケーション能力を伸ばす

職業理解者の理解啓蒙を図る

職業理解者としての誇りをもち、社会の一員として参加し、貢献できる力を育成する

職業理解者としての誇りをもち、社会の一員として参加し、貢献できる力を育成する

平成26年度 シチズンシップ教育全体計画

ESD 発展

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
消費者教育の推進に
関する法律
学習指導要領 など

校 訓

向学 誠実 調和

学校教育目標

自ら学び考え行動する人間性豊かな生徒の育成

生徒の実態
保護者・地域社会の
要望

保護者・地域との
連携

【目標】

- ・社会との接点にかかわる教育を充実し、市民としての意識、知識、スキルを身に付けさせる。
- ・法と自由を尊重するとともに、自らのライフスタイルを工夫し、公正で持続可能な社会の実現に関する課題解決のために主体的に行動できる、自立した責任ある市民を育成する。

道徳教育 キャリア教育 国際理解・平和教育（各全体計画参照）

法に関する教育 目標

- 法は身近なものであるという意識と関心を高め、民主主義社会の一員として責任ある市民生活をおくる上で必要となる法やきまり、ルール及び司法の意義や役割について理解し、それらを利用して紛争の解決を図ったり司法に能動的に参加したりするなど主体的に社会の形成に参画する態度を育成する。

法に関する教育の基本方針

- 法やきまり、ルールの基本となる考え方を学ぶ学習を進め、規範意識を醸成する。
- 私的自治や契約の考え方の基本的な考え方とその重要性を学ぶ学習を進め、自由・権利と責任・義務などの価値を理解させて、法的なものの考え方と実践力を身に付けさせる。
- 日本国憲法及び立憲主義の意義について生活と結び付けた学習を進め、民主主義社会を支える個人としての資質を高める。
- 司法が果たす役割と裁判員制度などの司法参加の意義を学ぶ学習を進め、新たな司法制度に対応する能力を高める。

消費者教育・金銭教育・租税教育 目標

- 消費者、納税者としての権利と役割を理解し、選択と行動を通じて、消費生活の安全・安定の確保と向上を目指すとともに、経済社会のあり方や持続可能な社会に参画する態度を育成する。
- 健全な金銭感覚を養い、日常生活でものやお金を大切にし、資源のむだを避けるなど、自立した社会の形成者としての能力と態度を育成する。

消費者教育・金銭教育・租税教育の基本方針

- 消費生活や租税に関する基本的な知識・技能を習得し、それを活用して将来を見通した合理的な意思決定や生活設計を行い、持続可能な社会へ寄与する消費生活を実践するとともに、他者と協力しながら問題を解決する能力を育む。
- 健全な金銭感覚を身に付け、社会参加や経済の発展を支えようとする意欲を高めるとともに、租税のしくみを知り、ものや資源を大切にする心や生活設計能力を育てる。
- 金銭は衣食住にとって必要であり、人間の在り方や生き方に与える影響について考え、健全な勤労観と社会連帯感、感謝の気持ちをはぐくむ。

	教 科	道 徳	総合的な学習の時間	特別活動
内 容	○社会（地理的分野） ・資源や産業 ○社会（公民的分野） ・私たちと現代社会 ・私たちと経済 ・私たちと政治 ○理科 ・エネルギー資源 ・科学技術と人間 ○音楽 ・知的財産権 ○美術 ・知的財産権、肖像権 ○保健体育 ・ルール、マナー ・フェアプレー ○技術・家庭 ・技術とものづくり ・著作権・情報モラル ・家族と家庭生活 ・消費生活と環境 ○教科「日本語」 ・ルールづくり（哲学） ・コマーシャルの秘密（表現）	1-(1)生活習慣 1-(3)自主・自律 2-(1)礼儀 2-(2)思いやり 2-(5)謙虚・寛容 4-(1)遵法の精神 4-(2)社会連帯 4-(3)公正・公平 4-(4)役割と責任 4-(5)公共の福祉 4-(6)家族愛 4-(7)愛校心 4-(8)郷土愛 4-(9)日本人の自覚 4-(10)世界の幸福	○「生きる」（持続可能な未来を生きる） ○第1学年 ・自分を知る（自分史） ・集団の中で生きる自分を知る ・自分たちの住む地域を知る ・自分の将来を考える（調べ学習） ○第2学年 ・他者とのかわり方を知る ・社会に生きる姿を知る（職場体験学習 など） ○第3学年 ・国際社会での生き方を知る ・豊かな将来を築く「生き方」を考える（上級学校訪問・進路学習会など） ○地域に貢献できる自分の生き方考える	○自分たちできまりをつくって守る活動 ・生徒一人ひとりが学級内の役割を分担し、話し合いや係活動、法に関する教育を通して学級生活や学校生活の向上と発展に努める。 ・学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力活動、ボランティア活動などを通して、きまりの大切さを理解し、楽しく創造的な学校生活を築こうとする自発的・自治的な活動を行う。
	NIE、家庭、地域社会との連携、関係機関等の協力による体験的な学習			

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
1年	技：情報とわたしたちの生活	美：デザイン画 保体：心身の機能の発達と心の健康	音：郷土の音楽 技：情報モラルと知的財産 日：ルールづくりを体験しよう	保体：武道 日：ルールづくりを体験しよう	社：世界の諸地域 音：詩と旋律 保体：球技(ゴール型)	音：イメージと音楽 保体：球技(ネット型) 技：技術とわたしたちの生活	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	理：身近な物理現象 保体：心身の機能の発達と心の健康	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画		
	家：住生活と自立	保体：ダンス	音：郷土の音楽 美：ポスター制作 家：家族と家族関係 日：コマージュの秘密	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	社：日本の諸地域 理：電流とその利便性、気象のしくみと天気の変化 音：オーケストラの響き 美：アートガラス 技：わたしたちの生活とエネルギー交換	理：身近な物理現象 保体：心身の機能の発達と心の健康	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画		
	2年	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	理：身近な物理現象 保体：心身の機能の発達と心の健康	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画	
3年	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	社：私たちが現代と未来 理：運動とエネルギー 音：日本の歌 美：組み合わせ模写・空想画 技：エネルギー交換に関する技術	理：身近な物理現象 保体：心身の機能の発達と心の健康	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	理：大地の変化 美：木版画 保体：心身の機能の発達と心の健康 日：二十一世紀に生きる君たちへ	社：世界のさまざまな地域の調査 理：大地の変化 美：木版画		
	1年	今を生きる大切さ	家族のきずな	善悪や支えへの感謝	よりよい集団づくり	公徳を尊ぶ心 礼の精神	心のあたかきまの意義	良心のめざめ	勤労の尊さ かけがえのない家族	勤労の尊さ かけがえのない家族	人生を切り拓く	支え合う家族 公正、公平な社会	くじけない心	いじめ防止 止掲示板
	2年	育み合う友情	社会秩序を高める	ともに生きたる感謝	責任ある判断	よりよい社会の実現	あたかきまの意義	自己を生かし輝く集団	社会への奉仕	社会への奉仕	家族への敬愛	良心に恥じない生き方	他を思いやる心	
3年	真理を愛する生き方	父母への感謝	感謝の心が伝わるもの	試練が育てる友情	礼儀に意義 生きたる喜び	勤労の貴さ	法の理解と遵守 思いやりの心	つながりあう社会 公正、公平な心	つながりあう社会 公正、公平な心	謙虚な心 役割の自覚	志高く生きる	きまを守る		
特別活動	障害理解教育	自己の適性を学ぶ	自己の適性を学ぶ	食育指導・性情報への対処	生徒会活動の意義と参加	所属意識の充実	ボランティア活動	地域学習	地域学習	地域学習	ボランティア活動	社説要約 今日のトピック		
	話し合い活動	所属意識の充実	所属意識の充実	食育指導・性情報への対処	生徒会活動の意義と参加	所属意識の充実	ボランティア活動	地域学習	地域学習	地域学習	ボランティア活動			
	地域学習・日本文化探求	自己の適性を学ぶ	自己の適性を学ぶ	食育指導	同一行動の習慣化	所属意識の充実	ボランティア活動	ボランティア活動	道路選択・決定と将来の夢	道路選択・決定と将来の夢	道路選択・決定と将来の夢			
総合的な学習の時間	自分を知る	自分たちの将来について考える	集団の中で生きる	社会に生きる姿を知る	集団の中で生きる	豊かな将来を築く	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	NIE掲示 板		
	他者とのかわり方を知る	他者とのかわり方を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る	社会に生きる姿を知る			
	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る	郷土と文化を知る			
地域社会と連携	地位総合防災訓練、地域施設交流、世田谷区子ども駅伝、Tボール大会、ガリレオコンテスト、交通安全教室、高校訪問授業、大学授業体験、いじめ防止プログラム、地域行事へのボランティア協力													

平成26年度 いじめ防止教育全体計画

日本国憲法 教育基本法 いじめ防止 基本方針	基本的な考え方 いじめをうまない風土・環境を整える いじめをしない資質を育てる いじめをやめさせる指導をすると同時に被害生徒を守る	生徒・保護者 いじめのない安 心して通える学 校
---------------------------------	---	-----------------------------------

いじめを防止する方針「学級づくりは人間関係づくり」※部活動なども同じ	
全体	1 すべての場面で生徒の人権意識を高め、いじめに対して「おかしい」「やめて」「許さない」等の態度をとる生徒を育てる。
授業	2 授業では、冷やかしからかい、いわゆるいじりなどを見逃さず指導し、安心して自分を出し合える信頼関係をつくる。
道徳	3 道徳の時間、学級活動などを通して、互いのちがいを認め、相手の苦しみや痛みがわかる共感的人間関係をつくる。(思いやりや友情、協力、個性の尊重、寛容、偏見や差別をしない心、公正公平等)
特別活動	4 学校行事などを通して、学級内のグループ同士が協力して、ひとつのことを成し遂げたり、かかわっていく中で互いの良さを見つけたりさせながら、思いやりの心と役割意識、責任感をはぐくむとともに、集団の成長を促す。
教育相談・生活指導	5 教員の研修を進め、人権意識の向上やカウンセリングマインドを身に付けさせるとともに、生徒や保護者との対話を重視し、相談する機会を多くとる。 6 教職員によるきめ細かな観察、面談、情報交換と併せて、いじめに関する生徒アンケートを学期に1回以上実施し、いじめ防止と早期発見に全校体制で当たる。 7 いじめが疑われる場合は、すぐに状況を把握し、被害生徒を守るとともに、学級担任または部活動顧問と学年教員、生活指導主任と副校長がチームで指導する。 8 教職員は、生徒理解力、学級経営力、学校組織力や部活動運営力を高め、潜んでいるいじめも見逃さないようにするとともに、教職員自らがいじめを助長することなく、痛みや苦しみに共感する心を持ち、いじめを防止・解決しようとする積極的かつ誠実な姿勢でスピード感をもって取り組む。

・校長メッセージ ・校長講話 ・学校運営委員長 - PTA 会長 - SCメッセージ ・副校長面接	・生徒会長メッセージ ・いじめ防止集会 ・いじめ防止の呼びかけ	・ふれあい月間 ・全校道徳 ・アンケート調査 ・いじめ体罰相談箱	・教育相談週間 ・二者面談 ・SC面接 ・関係機関との連携 ・教職員研修
--	---	---	--

いじめ防止委員会
いじめ・体罰相談窓口 (副校長)
人権教育 生命尊重教育 自殺防止教育

平成26年度 いじめ防止教育年間指導計画 駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育活動全体 (各教職員・生活指導部)		観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導	観察・相談 情報交換 啓発・指導
道徳	1年生	優しい心 自分をきかえ る	自分をきかえ る	正しい異性 理解	よりよい集団 づくり		いじめを許さ ぬ心	真の友情 心のあた かさ	良心のめざ め	誠実な行動 と責任	生命の尊さ	公正、公平 な社会 思いやり	くじけない心
	2年生	育み合う友 情	社会秩序を 高める	ともに生きる 社会 家族の深い 愛	誠実な心		強い正義感	あたたかい 人間愛	かけがえの ない命	思いやりの 心 正しい異性 理解	正義を重ん じる心	正しい異性 理解	他を思いや る心
	3年生	真理を愛す る生き方	父母への感 謝 信頼に支え られた友情	生命の尊さ	試練が育て る友情 弱さの克服		いじめを許さ ぬ心	思慮深い判 断と責任	思いやりの 心 正しい異性 理解	つながり合う 社会	心のふれあ い	愛校心	自分を磨く
特別活動	生徒会	生徒会ガイ ダンス	生徒会長メッ セージ	あいさつ運 動	あいさつ運動 目安箱の設置		連合陸上壮 行会	あいさつ運 動	いじめ防止 全校集会	生徒協議会	ボランティア 活動	ボランティア 活動	あいさつ運 動
	学校行事 学級活動	ネットリテラ シー(第1学 年) 障害理解教 育(第1学年)	所属感を高め る運動会への 取り組み	移動教室(第 2学年) 修学旅行(第 3学年)	性教育・健全 な異性観		障害理解教 育(第2学年) 移動教室(第 1学年)	連帯感を高 める合唱コン サートの取 組み	ティーポール 大会	自己評価 シート(全学 年)	進路指導(第 3学年)	職場体験(第 2学年) 校外学習(第 2学年)	障害理解教 育(第3学年) 合同防災訓 練
教育相談		二者面談 三者面談(家 庭訪問)	随時相談	随時相談	三者面談	三者面談	二者面談	随時相談	三者面談(3 年生)	三者面談	二者面談	随時相談	随時相談
生徒会活動等			いじめ防止 講演会	いじめ防止 プログラム	スクールパディ				いじめ防止 シンポジウム				
調査		いじめ体罰 相談箱	いじめ体罰 相談箱	いじめ体罰 相談箱	学期の反省 紙上保護者 いじめ体罰 相談箱	いじめ体罰 相談箱	いじめ体罰 相談箱	いじめ体罰 相談箱	学校生活ア ンケート 学校関係者 評価 いじめ体罰 相談箱	学期の反省 紙上保護者 いじめ体罰 相談箱	いじめ体罰 相談箱	学校生活ア ンケート いじめ体罰 相談箱	学期の反省 紙上保護者 いじめ体罰 相談箱
研修		いじめにつ いての研 究に係る 研修 新聞記事の 共有	生徒理解の 研修 新聞記事の 共有	家庭訪問等 から 新聞記事の 共有	アンケート結 果から 服務事故防 止研修 新聞記事の 共有	市・区の研修 (教育相談・ 生活指導)	いじめにつ いての研 究に係る 新聞記事の 共有	後期指導方 針の確認 新聞記事の 共有	アンケート結 果から 新聞記事の 共有	アンケート結 果から 服務事故防 止研修 新聞記事の 共有	アンケート の分析 新聞記事の 共有	アンケート結 果から 新聞記事の 共有	次年度計画 の作成 服務事故防 止研修 新聞記事の 共有
その他		校長講話(い じめを許さ ない宣言) 学級経営案	学級文庫整 備	副校長講話	校長面接(3 年生) 副校長面接 (2年生)	いじめコー ナー掲示物 貼りかえ	校長メッセ ージ	主幹教諭講 話	学校運営委 員会メッセ ージ	学級文庫整 備	PTAメッセ ージ	副校長講話	校長講話 学級経営案 の反省

平成26年度 生活指導年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	学期の指導目標	月	月 目 標	指 導 内 容
1 学 期	学校のきまりを守り、よい学習環境づくりをさせるとともに、自主的な学習態度を身につけさせる。	4 月	・自ら進んであいさつをしよう ・新しい学年・学級の生活に慣れよう	・学校のきまりを徹底し、実行させる ・服装や礼儀作法を正しくさせる ・登下校時刻と通学路を守らせる ・よりよい学習環境や校風づくりに努める ・交通規則を守り、安全な生活ができるようにさせる ・丁寧な清掃活動の習慣を身につける
		5 月	・集団の一員としての役割を果たそう ・学校や社会のルールや法律を守ろう ・学級で団結し、運動会を成功させよう	・1分前着席を励行し、学習の準備をさせる ・自主的に学習する習慣を身につける ・学習に不要な物を持ってこさせない ・係や当番、委員会活動に責任をもって取り組ませる ・校舎内での休み時間の過ごし方や廊下歩行時の安全を徹底させる ・地区別下校班の組織編成を行い、災害時の行動に対する意識を高めさせる ・運動会の練習を通して、協力や団結の大切さを理解させる
		6 月	・授業や部活動で、友だちと励まし合おう ・あたたかい人間関係をつくろう	・正しい服装や清潔な身だしなみを整えさせる ・美しい言葉遣いと挨拶を身につけさせる ・思いやりの心を育む
		7 月	・善悪を判断し、正直な心で行動しよう ・1学期の反省をし、夏休みの計画を立てよう	・誰に対しても親切な気持ちで接し、他の人に迷惑をかけない行動を身につけさせる ・善悪を正しく判断し、正直な心で誠実に行動することの大切さを理解させる ・1学期の学校生活を振り返り、よい点、改善点を話し合わせる ・夏休みの学習と生活の計画を立てる
		8 月	・規則正しい生活と安全に努めよう ・2学期の学習と生活の計画を立てよう	・交通安全に努める ・計画を実行する強い意志と自律性を養う ・心身を鍛練し、自分の健康を管理する ・2学期に向けて学習と生活の計画を立て、準備させる
2 学 期	集団の一員であることを自覚し、自分の行動に責任を持たせるとともに、勤労と奉仕の精神を育てる。	9 月	・目標を掲げ、あきらめず挑戦する心を持つよう ・生徒会活動に自主的に参加しよう	・目標や理想に向かって計画を立て、あきらめずに挑戦する姿勢を身につけさせる ・自分の行動や生活態度を反省し、自ら修正していく力を育成する ・生徒会役員選挙を通して、生徒会活動への関心を高める ・自分の役割や仕事を自主的に、責任を持ってやり遂げさせる

学期	学期の指導目標	月	月 目 標	指 導 内 容
2 学 期		10 月	・学校の施設や用具を大切に使う ・学級、学年で団結し、合唱コンクールを成功させよう	・学校の施設や用具を大切に扱い、学校内外をよごさない習慣を身につけさせる ・積極的に清掃活動を行い、用具の後片付けをきちんとさせる ・日頃の学習の成果を生かし、創造性豊かな合唱コンクールの成功につなげる
		11 月	・お互いの人権を尊重し、親切な心で生活しよう ・ボランティア活動に積極的に参加しよう	・かけがえのない人間として、お互いの人権を尊重し、誰に対しても公平、公正に行動できるようにさせる ・身近な地域や生活の中でできるボランティア活動に積極的に参加する
		12 月	・2学期の反省をし、新しい年への意欲をもとう ・自ら進んで健康、体力づくりに励もう	・1年間の反省をし、自分の長所や短所に気づくとともに、長所を伸ばす工夫を考えさせる ・より充実した生活を営むために必要な目標を掲げ、新しい年への意欲をもたせる
3 学 期	公共物を大切に使い、学習や生活の環境を整えさせる	1 月	・両親や友だち、周囲の人々に感謝の心を伝えよう ・新しい目標を立て、1年間のよいスタートを切ろう	・自分たちを見送り、支え、育ててくれている人たちに「ありがとう」と感謝の心を伝える ・学校の施設、設備、備品などを大切に使い、公共物の維持に努める
		2 月	・自分の目標に向かい、努力を続けよう ・最後まであきらめずやり抜く心を養おう	・自分でやると決めたことを継続して行い、最後までやり遂げさせる ・困難なことに出会っても、決してあきらめず、一步一步努力させる
		3 月	・1年間を振り返り、自分の成長を確認しよう ・新しい生活に向けて前向きな見通しを立てよう	・1年間の学習、生活を反省し、自分の成長を確認させる ・新しい生活に向けて目標を掲げ、前向きな見通しを立てさせる ・学校内外の美化に努め、教室や諸施設を気持ち良く引き渡す ・交通安全に努める